

青木栄一所蔵 鉄道史関連雑誌論文目録

青 木 栄 一

解 題

I.

私が1955（昭和30）年に千葉大学工学部機械工学科から同じ大学の文理学部地学科に転学部して、プロフェッショナルな地理学の研究者を志してから半世紀が経過した。2年後に大学院に入り、1965（昭和40）年に大学院博士課程を修了して学位を得てより、4つの大学に奉職し、本年3月に駿河台大学文化情報学部を退職して、長い大学教員の研究生生活が一段落した。この間、多くの大学研究者と同じように、自分の研究を論文として発表すると同時に、お付き合いのある研究者からたくさんの論文の抜刷をいただいた。これらは著者名の五十音別にファイルボックスに分類して保管してきたが、長年の間にその数は数千冊以上（正確に数えたことはないが）に及んでいる。

今回、このなかから私がこれまで主に勉強してきた鉄道史に関連する論文抜刷を抽出して目録を作ってみた。収録した論文は1,259編で、疎漏な管理のために長い間に失われてしまったものもあると思うが、おそらく日本におけるこの種の論文のコレクションとしては最大の規模であろう。

鉄道史研究の世界が極めて学際的であるにもかかわらず、比較的新しい学問であるために全体としての基礎教養体系がまだ十分に総合されていない憾みがある。古典的な学問の分類でいうと、歴史学、地理学、経済学、経営学のような文科系の学問に加えて、多岐にわたる工学系の学問がこれに加わっている。こちらも土木、機械、電気、等々に細分された専門分野があって、工学系内相

互間の理解もなかなか大変である。鉄道とその歴史を勉強するということは、このように極めて広い分野の教養が基礎となるわけであるが、異なる学問分野間の間にはかなり高く、厚い壁があり、これを乗り越えることは決してたやすいことではない。文科系の学問相互間でもそのような傾向があるのだから、文科系と技術系との間の壁はさらに高く、厚い。そのためにそれぞれの学問分野でたくさんの論文が発表されるが、他の分野の研究者にはその情報が伝わりにくい環境にある。

他の学界でも似たような傾向はあるが、論文が大学紀要や地方学会、あるいは小規模な研究サークル内で発表され、その情報はなかなか外の世界には伝わらない事例が多い。このことは鉄道史の世界でも同様であり、とくに地理学や地方史研究の世界で鉄道史がまじめに取り上げられるようになると、この傾向が助長された。全国的な学会誌だけをウオッチしていても、それは発表される研究論文のごく一部にすぎず、全体像はつかみにくい状態が続いているのである。

幸いにして、私は広い分野にわたる多くの鉄道史研究者と長年にわたる交際があり、広い範囲から多数の論文が手許に集まる結果となった。それがこの目録である。

II.

この目録は、青木が入会していた学会の機関誌や定期購読していた雑誌に掲載された論文とともに、多くの研究者から寄贈された雑誌論文の抜刷、そのコピーなどを中心として編集された。とくに発行部数の少なく、また内容の情報が得にくい大

学紀要や小規模な地方的雑誌がかなり多くを占めている。この目録が鉄道史に関する雑誌論文全体のなかでどの程度のパーセンテージの論文を網羅しているのかはわからない。しかし、従来公刊されたこの種の目録のどれよりも数的に多く、かつ広い分野をカバーしていることは確かである。その意味で、多くの研究者にとって初めてその存在を知る論文も多いのではないかと思う。

この目録に収録された論文は、第二次大戦後に発表され、基本的には独立した雑誌論文であって、単行本は含まれていない。ただし、比較的ページ数の少ない小冊子で、著者が自費で小部数を印刷し、先輩・知己に配布した若干の「私家版」は含まれている。だが、どこまでが「小冊子」の上限であるかははなはだあいまいである。また、雑誌論文ではないが多くの執筆者が寄稿して編集された論文集に含まれる鉄道史研究に関わる論文はそれぞれを個別の論文として収録した。しかし、その数は少なく、たまたま私の目に触れたものが収録されたに過ぎないといってよいであろう。また、史料集・史料目録の類は入れた。近年、各地の地方博物館などで地元の鉄道に関する企画展などが開催されることが多いが、その際につくられた図録にも優れた解説や資料の掲載されているものが少なくない。しかし、私の手許に集まったものが数的に少ないので、この目録からは除外されている。書評、文献解題も含まれていない。

目録に収録された論文は、鉄道「史」に関わるものとしたが、実は現状の解説ないし分析を目的としたものがかなり多く含まれている。現状分析のなかにも過去からの変容過程、歴史的な分析が含まれているのが通例であって、現状が過去からの歴史の流れの最後の一瞬であるという事実を考えれば、歴史を完全に無視した現状分析はありえないから、それは当然のことである。そのためにこの種の論文も、あえて目録に収録した。しかし、論文の収録可否の判断はかなりアバウトにならざるを得なかった。

鉄道史研究において数的に多数を占めているのは、実は鉄道雑誌に掲載された論文であるが、こ

れらはここには収録されていない。この目録に含まれているものの数倍以上が存在していると思う。これらは数が多くてとてもここには収録できないのが最大の原因であるが、商業雑誌として比較的入手が容易であり、それぞれの雑誌の索引・目録が整備されているからでもある。

鉄道史研究の世界に特徴的な現象は、職業はさまざまであるが、鉄道研究を趣味とするアマチュア研究者の厚い層の存在である。ここでは数的にはプロフェッショナルな研究者によるものの何倍もの調査・研究が行なわれ、論文が生産されている。大学などに勤務する研究者のなかにはこれらアマチュア研究者を無視ないし軽視する人も往々にしているが、これはまさに夜郎自大以外の何者でもない。アマチュア研究者の多くは、文科系と技術系の両方にまたがる広い基礎教養を持つ人が多く、狭い専門分野の殻に閉じこもりがちでプロフェッショナルな研究者と対照的である。プロ研究者には全時代を通じての総合的な通史を書けない人が多く、この点でもアマチュア研究者に一步を譲る。事実アマチュア研究者は、量的には数倍、質的にも十分に対抗できる成果を上げていることを忘れてはならないのである。

個人的な所蔵に基づく雑誌論文の目録であることに加えて、上に述べたようなさまざまな条件の下で作成されたという制約がある。ここでは全国的な学会誌も多いが、大学紀要や地方学会誌、小規模な研究グループの機関誌に発表されて、あまり広く知られていない論文多数の収録がこの目録の目玉であると考えていただきたい。この種の論文は現代のインターネットの利用によってもあまり効率的な検索はできず、多大の労力と時間を必要とするものだからである。その意味で、これから鉄道史研究を進めてゆこうとする研究者にこの目録が有効に活用されることを期待している。

Ⅲ.

この目録では、1,259編の雑誌論文を発表年順に、特別な分類をすることなく、執筆者名、論文題名、掲載誌とその巻号数の順に配列している。

これを、5年ごとの時期別に集計すると、次のようになる。

| | | | |
|----------|------|----------|------|
| 1950～54年 | 7編 | 1955～59年 | 11編 |
| 1960～64年 | 21編 | 1965～69年 | 44編 |
| 1970～74年 | 35編 | 1975～79年 | 59編 |
| 1980～84年 | 133編 | 1985～89年 | 201編 |
| 1990～94年 | 259編 | 1995～99年 | 273編 |
| 2000～04年 | 204編 | 発行年不明 | 12編 |

日本における鉄道史研究は20世紀初頭から官庁や鉄道企業による記録編纂が行なわれ、また、鉄道企業に勤務する幹部職員の中には歴史的な立場で論文をまとめた人々もいた。いわゆる学界では、1930年代に経済史学の世界においてマルクス経済学の立場での研究が先駆となったが、一次史料による分析はなされず、既存の鉄道史書や統計から結論に都合のよい事実の部分を取り上げて論じるという安易な方法をとっていた。同じ頃に蒸気機関車を中心とする鉄道車両に関心をもつアマチュアの研究者が車輛の形態や履歴に関する調査を始めていて、1929年以降、鉄道雑誌の刊行が始った。しかし、断片的な個別調査の報告に止まっていた。

基本的な一次史料に基づく鉄道史研究は経営史研究の分野からまず行なわれた。1958・59年に石井常雄による両毛鉄道史の研究が最初であるが、地方的な鉄道の歴史を対象とした研究が盛んとなるのは、1960年代後半を待たねばならない。この時期から個々の地方の鉄道を対象とした研究が経済史、経営史、歴史学、地理学などの分野から多くの研究者の参入によって推進される。とくに1980年代に入ると、論文数は一挙に増加し、1983年には鉄道史研究を専門とする鉄道史学会が創立された。「鉄道の発達と地域社会の変容」というようなテーマが上記の学問分野のなかで強力に推進された。一方アマチュアの研究者の研究も蒸気機関車中心から鉄道車両の発達全体に拡大し、同じく個々の鉄道の車輛発達史が精力的に調査されていった。そして車種ごとの通史が作られるようになり、さらに地域社会のなかでの鉄道の役割説明を中心とした総合的な視点の開発に向かうよう

になる。これらの研究史については、既に私がまとめたことがあるので、これを参照してほしい¹⁾。

この目録に現れた論文の題名を見ると、鉄道雑誌が除外されているので、車輛史研究の傾向はわからないが、フィールドワークに基づく地方的な個々の鉄道の研究が年とともに著しく増加していることが理解できる。同時に個々の鉄道史解明の成果を総合して、大都市鉄道、ローカル鉄道、特定の産業と鉄道との関連、橋梁・トンネル・駅などの建築・構造物発達などの通史をつくる試みがかなりの成果を挙げている。他の交通機関の発達を視野に入れた総合交通体系の中での鉄道史研究も進んでいる。その反面、あまり進んでいないのは、社会・経済史的視点と技術史的視点（とくに土木史、機械工学史、電気工学史など）との結合であり、今後の大きな問題点といえるであろう。

この目録には、外国の鉄道史に関わる論文も少数ながら含まれている。しかし、私の手許に集まった論文はおそらく全体から見れば、ごく少ない割合であろう。ただ、鉄道史研究は日本ばかりでなく、世界的に見てもある特定の国の鉄道史を対象とした一国史研究が圧倒的に多く、世界的視野で国際比較を行なうような研究は少ない。このことも今後の課題である。

なお、本目録の掲載順序は、刊行年次順(暦年)とし、同一年次のなかでは著者名の漢字コード順に配列し、著者名、論題、収録誌名、巻(号)の順に表示した。

(注)

- 1) 青木栄一：「鉄道交通史」。(交通学説史研究会編『交通学説史の研究(そのIV)』、〈第4部第1章〉、運輸経済研究センター、1991、pp. 419～478、所収)。
青木栄一：「鉄道史研究における地方的アプローチの系譜」。明大商学論叢80(1・2)、1998、pp. 1～19。
青木栄一：「鉄道趣味のあゆみ—『鉄道ピクトリアル』の半世紀とともに—」。鉄道ピクトリアル703、2001、pp. 131～155。

青木栄一所蔵 鉄道史関連雑誌論文目録

1950年

吉川貫二, 我国私鉄の萌芽と関西鉄道会社, 同志社商学, 2(1)

吉川貫二, 明治初年における我国鉄道政策の動揺とその推移, 同志社商学, 2(2)

大橋與一, 帝政露西亞の西比利に於ける横断鉄道建設と地理的事情, 宇都宮大学学芸学部研究論集, 1

1952年

増井健一, わが国資本主義創始期の鉄道, 運輸と経済, 11(4・5)

1953年

清水馨八郎, 都市の交通圏とその拡大, 都市問題, 44(12)

増井健一, 輸送手段発達の地域性について, 三田学会雑誌, 46(4)

1954年

浅井得一, 泰緬鉄道, 新地理, 1(4)

1955年

金谷重義, ロンドン交通統制の史的発展, 都市問題, 46(10)

渡邊慶一, 鉄道信越線の開通と村の変化〈共通課題報告要旨〉, 地方史研究, 18

有末武夫, 伊豆半島の交通資料 発達史的部面 その1 陸上交通篇, 私家版

1956年

稲葉松三郎, 今は昔 郷土多摩鉄道事始め覚書—中武馬車鉄道の巻一, 多摩郷土研究, 31

清水馨八郎, 大阪市の都心形成と市内交通, 都市問題, 47(7)

1957年

海野一隆, (資料) 中国の鉄道交通の発展, 人文

地理, 9(3)

1958年

角本良平, 都市交通, 地理, 3(12)

清水馨八郎, 大都市地域構造と交通秩序, 地理, 3(2)

石井常雄, 両毛鉄道会社における株主とその系譜, 明大商学論叢 (明治大学商学研究所), 41(9・10)

谷合良治, 五日市鉄道敷設に就いて, 多摩郷土夜話 (白雪書房), 巻号不明

1959年

石井常雄, 両毛鉄道会社の経営史的研究, 明治大学商学研究論集, 4

1960年

関島久雄, 甲武鉄道23の疑問点を解く, 成蹊大学政治経済論叢, 10(2)

柴田貞一, 尾張鉄道, 地方史研究, 46

西川由造, 都市交通の推移, 汎交通, 1960. 11

有末武夫, 戦前における伊豆半島南部の交通関係の発展, 群馬大学紀要人文科学篇, 9(7)

1961年

関島久雄, 甲武鉄道—東京地方の地方公益企業としての研究(1), 成蹊大学政治経済論叢, 11(2)

小熊米雄, 日本における森林鉄道用蒸気機関車について, 北海道大学農学部演習林業務資料

有末武夫, 戦後における伊豆半島南部の交通関係の発展, 群馬大学紀要人文科学篇, 10(7)

1962年

関島久雄, 甲武鉄道—東京地方の地方公益企業としての研究(2), 成蹊大学政治経済論叢, 12(1)

小熊米雄, 日本の森林鉄道用車両について, 日本林学会北海道支部講演集, 11

有末武夫, 東京およびその周辺における交通量の

推移，群馬大学紀要人文科学篇，11(6)

1963年

関島久雄，甲武鉄道—東京地方の地方公益企業としての研究(3)(4)，成蹊大学政治経済論叢，12(4)，13(2)

原田勝正，わが国鉄道史研究上の成果と問題点，交通文化，1

原田勝正，鉄道史関係主要文献目録（抄出），交通文化，1

浅井得一，泰緬鉄道補遺，新地理，10(4)

有末武夫，日本の鉄道貨物輸送，群馬大学紀要人文科学篇，12(4)

1964年

原田勝正，東海道線の開通とその影響〈共通課題報告要旨〉，地方史研究，70

山口平四郎，ブレンネル峠とチロルの交通体系，立命館文學，233

酒本 昇，鉄道貨物輸送の現状と将来，地理，9(6)

青木栄一，都市化の過程における鉄道交通網の形成とその変質—東京周辺における鉄道交通網を例として—，交通文化，3

田中時彦，政策決定の視点からみた日本の鉄道創設—日本政府側の意図の解明—，交通文化，4

1965年

原田勝正，鉄道敷設法制定の前提，日本歴史，208

古田十一朗，直江津線建設に関する史料 I，交通文化，5

星野誉夫，明治期の私鉄と銀行—日本鉄道会社と第15国立銀行—，交通文化，5

川田礼子，中央線の建設とその経済的背景，交通文化，5

浅香幸雄，明治後期における駿甲連絡鉄道の建設運動，地理学研究報告（東京教育大学地理学教室），IX

大庭正八，オットー代記，教師の広場，3(8)

東 皓傳，陰陽連絡と山陰の地域開発，広島県高等学校教育研究会社会科部会研究紀要，2

本田紀久子，横浜鉄道に見る私有鉄道の一構造，交通文化，5

1966年

玉城 肇，明治期における「鉄道熱」について—近代日本産業発達史の一研究—，愛知大学20周年記念論文集（経済編），51・52

青木栄一，わが国の鉄道における初期の客車の変遷について，都留文科大研究紀要，3

淡路憲治，中越鉄道敷設と地主層との関連，富大経済論集（富山大学経済学部），12(2)

中川浩一，ダム建設と交通路，地理，11(2)

東 皓傳，近・現代における陰陽連絡—旅客交通を中心に—，芸備地方史研究，56・57

柁 幸雄，わが国における鉄道路線の廃止，日本交通学会第25回大会報告

有末武夫，東京・名古屋・大阪における都市の発達と交通との関係，群馬大学教育学部紀要人文・社会科学編，16(3)

1967年

宇田 正，官営釜石鉾山鉄道資材の払下げと阪堺鉄道会社の成立—『工部省時代』の終焉—，追手門経済論集，1(2)

山村順次，温泉観光集落の発達と機能—中伊豆の修善寺・伊豆長岡の場合—，歴史地理学紀要，10

小原敬士，アメリカの鉄道，地理，12(10)

青木栄一，鉄道の現代的意義と地域差，地理，12(10)

青木栄一，鉄道交通地理学の系譜と方法論に関する考察，都留文科大研究紀要，4

青木栄一，鉄道交通地理学の調査法—とくに局地鉄道の調査を中心に—，研究と資料（都留文科大社会科研究室），1

池田博行，近代交通資本の形成，専修商学論集，5

中川浩一, 開発途上国における鉄道の構造, 地理, 12(10)

日野尚志, 北九州・筑豊地域における鉄道の発達と現況ならびに鉄工業生産と輸送の関係について, 有明工業高等専門学校紀要, 3

浮田典良, ヨーロッパの鉄道, 地理, 12(10)

有末武夫, 日本の鉄道, 地理, 12(10)

1968年

宇田 正, 近代堺における鉄道問題とその産業的背景, 堺研究, 3

工藤和馬, 鉄道不採算路線問題の本質, 流通経済論集 (流通経済大学学術研究会), 3(1)

池田博行, 近代的交通資本の形成, 交通学研究, 1968年

池田博行, 近代的交通資本の前史, 専修商学論集, 6

中務一郎, ニュー・サウスと鉄道規制, 千葉商大論叢, 10

1969年

奥野隆史, アメリカ合衆国における都市交通, 地理, 14(12)

山村順次, 伊香保・鬼怒川における温泉観光集落の発達と経済的機能—温泉観光地の研究 第2報—, 地理学評論, 42(5)

山村順次, 伊香保・鬼怒川における温泉観光集落形成の意義—集落の社会経済構造からみた—, 地理学評論, 42(8)

松井 透, イギリス帝国主義とインド社会—鉄道建設を焦点にして—, 岩波講座『世界史』, 第22巻

青木栄一, ローカル線問題を考える(1)(2), 地理, 14(4), (5)

青木栄一, 下津井鉄道の成立とその性格—瀬戸内海近世港町における鉄道導入に関する研究第一報—, 地方史研究, 97

青木栄一, 近世港町軌および下津井における鉄道交通の導入とその特質, 東北地理, 21(3)

青木栄一, 第一次産業地域における局地鉄道の建

設—地主金融資本の役割を中心として—, 歴史地理学紀要, 11

青木栄一, 日本の私鉄における貨物輸送の性格—運輸密度と貨物品目構成を中心として—, 地理学評論, 42(6)

青木栄一, ヨーロッパの都市交通, 地理, 14(12)

中川浩一, 日本の都市交通の種々相, 地理, 14(12)

藤沢 晋・在間宣久, 中国鉄道の設立と資本・営業の展開過程—私鉄の設立・経営とその国有化をめぐる問題として—, 岡山大学教育学部研究集録, 28

1970年

山村順次, 箱根における温泉観光地の形成—中央観光資本の展開過程を中心として—, 大東文化大学紀要 (経済学部), 8

市川健夫, 長野県における鉄道開通, 長野県近代史研究, 2

星野誉夫, 日本鉄道会社と第15国立銀行(1), 武蔵大学論集開学20周年記念論文集, 17

青木栄一・亀田郁子, 黒部鉄道の建設とその性格—電力資本による地域開発の一例—, 新地理, 17(4)

有末武夫・青木栄一, Development of Railway Network in the Tokyo Region from the Viewpoint of Metropolitan Growth, The Japanese Cities, 日本地理学会

1971年

宇田 正, わが国鉄道事業経営における政府と企業—『鉄道政略』の展開過程, 経営史学, 6(1)

吉沢 誠, 善光寺白馬電鉄の研究, 信濃, 23(5)

宮川秀一, 幻の鉄道網—伊丹を中心とした—, 歴史と神戸, 10(2)

今野修平, 貨物の地域間流動, 地理, 16(5)

執筆者不明, 成らなかつた土鶴鉄道—『神戸開港30年史』より—, 歴史と神戸, 10(2)

松岡秀夫, 赤穂の私鉄, 歴史と神戸, 10(2)

星野清光, 青梅線の旅客輸送・貨物輸送の現状と

問題点，地理，16(4)

星野誉夫，日本鉄道会社と第15国立銀行(2)，武蔵
大学論集，19(1)

青木栄一，交通研究と地理学，地理，16(1)

藤沢 晋・在間宣久，中国鉄道の大正・昭和期経
営と国有化—私鉄経営の苦悩と国有化を中心
として—，岡山大学教育学部研究集録，31

木村 孝，私鉄山陽鉄道の成立，歴史と神戸，10
(2)

木村辰男，山陽・山陰連絡鉄道の形成過程—鉄道
敷設法の公布に関連して—，神戸学院大学紀
要，II(1)

1972年

原田雅純，岩鼻軽便鉄道について，群馬文化，
130

原田雅純，緑野馬車鉄道について，群馬文化，
135

星野誉夫，日本鉄道会社と第15国立銀行(3)，武蔵
大学論集，19(5・6)

青木栄一，交通よりみた中央日本の変容，地理，
17(2)

青木栄一，山地と鉄道交通，地理，17(8)

有末武夫，飛騨山地地域における開発と交通，群
馬大学教育学部紀要人文・社会科学編，22(5)

1973年

宮本政幸，鉄道技術に関する知識の導入過程(I)
—特に機関車に関して—，京都教育大学紀要，
A43

原田勝正，明治中・末期における近畿地方の鉄道
網形成について〈共通課題報告要旨〉，地方
史研究，124

小川 功，20世紀初頭における米国生保の財務活
動—巨大生保の銀行系列化と企業支配を中心
に—，生命保険経営，41(4)

青木栄一，観光開発と交通，地理，18(3)

青木栄一，房総地方における鉄道網の形成とその
問題点—房総地方鉄道史序説—，地方史研究
協議会編：『房総地方史の研究』(雄山閣出版)

大坪省三，府中における交通(その2)，府中市
史近代編資料集，12

白土貞夫，成田鉄道の建設とその背景，成田市史
研究，2

武知京三，明治期—私有鉄道会社の命運，社会経
済史の諸問題(黒田兵治郎先生古稀記念論文
集)

1974年

宮本政幸，鉄道技術に関する知識の導入過程(II)
(III)—特に機関車に関して—，京都教育大
学紀要，A44，A45

青木栄一，客車研究入門，復刻『明治43/44年版
客車略図』別冊解説，丹沢新社

青木栄一，交通地理学の研究系譜に関するノート
—第二次世界大戦前における日本の交通地理
学の導入と展開を中心として—，地域研究
(立正地理学会)，15(1)

淡野明彦，私鉄資本の進出に伴う秩父地方の変容，
地理学評論，47(8)

1975年

原田 栄，新聞輸送の地理学的研究—東北地方の
場合—，福島工業高等専門学校紀要，11(1)

小西正雄，福知山線の経路変更問題について，兵
庫地理，19

小林 博，西ドイツ諸都市における鉄道駅の立地
移動，山口平四郎先生定年事業会編『地域と
交通』，大明堂

朝倉希一，自動連結器採用の思い出①②，汎交通，
75(4)(5)

田中通夫，幻の鉄道—明治後期・大正期における
京都府下の鉄道建設計画事例—，資料館紀要
(京都府立総合資料館)，4

武知京三，新宮鉄道の設立過程，和歌山県史研究，
3

柗 幸雄，国鉄線をめぐって—とくに対応する市
民の意識と赤字在来線の対策—，『現代日本
の交通問題』(ジュリスト増刊総合特集)，2
末尾至行，「幻の鉄道」3件，吹田の歴史，3

1976年

- 伊藤好一, 幻の鉄道—八王子鉄道と八王子市場圏—, 多摩のあゆみ, 2
- 稲葉芳亭, 青梅鉄道事始め, 多摩のあゆみ, 2
- 宇田 正, 明治前期日本における東西連絡幹線鉄道の建設—中山道鉄道から東海道鉄道へ—, 追手門学院大学創立10周年記念論文集・経済学部編
- 桜井 徹, 日本鉄道株式会社の資本蓄積条件と国有化問題 (上)—国家独占生成に関する準備的考察—, 大阪市大論集, 25
- 青木栄一, 観光開発における都市鉄道の役割, 巨都市化に伴う空間生態の変容に関する研究 (文部省科研費報告書)
- 青木栄一, 甲武鉄道, 多摩のあゆみ, 2
- 青木栄一, 多摩の鉄道—そのあゆみと背景—, 多摩のあゆみ, 2
- 島田幸一, 群馬県鉄道布設序説, 群馬県史研究, 3
- 武知京三, 第二次鉄道熱期についての考察—西成・河陽両鉄道を中心に—, 近畿大学短大論集, 8(2)
- 武知京三, 日清戦争後鉄道会社の株主とその系譜, 青鞥女子短期大学紀要, 6
- 末尾至行, 「北大阪電鉄」誕生の経緯—私鉄発達史の一駒—, 『日本文化史論叢』(柴田實先生古稀記念会)

1977年

- 桜井 徹, 日本鉄道株式会社の資本蓄積条件と国有化問題 (下)—国家独占生成に関する準備的考察—, 大阪市大論集, 26
- 小川 功, 20世紀初頭におけるわが国生保の財務活動—鉄道金融を中心として—, 生命保険経営, 45(6)
- 松島 忠, 「鉄道記念物」制度の概要, 産業考古学, 1
- 青木栄一, 東濃地方における鉄道網の形成, 東京学芸大学紀要第3部門社会科学, 28
- 青木栄一, 富士山をめぐる交通網の形成, 児玉幸

多監修『富士山麓史』, 富士急行

- 武知京三, 南海鉄道創設過程の一駒, 近畿大学短大論集, 9(2)
- 福田泰幸, 初期アメリカ鉄道業と会計情報(1), 商経学叢, 58
- 老川慶喜, わが国における全国的鉄道体系形成過程の特質—京都鉄道建設をめぐる政府と企業の動向—, 社会経済史学, 43(6)
- 老川慶喜, 明治前期八王子における鉄道敷設の動向—市場圏の形成という視角から—, 地方史研究, 146

1978年

- 園田正雄, 西武線・思い出の車輛, 多摩のあゆみ, 11
- 関島久雄, 明治31年当時の「多摩の鉄道」, 多摩のあゆみ, 11
- 栗原利喜夫, 国鉄創業当時のレール, 産業考古学, 7
- 佐藤美知男・星野清光, 五日市鉄道遺跡「立川～拝島」間を歩いて, 多摩のあゆみ, 11
- 小山 博, 多摩湖電車寸感, 多摩のあゆみ, 11
- 瀬古龍雄, 赤谷鉦山専用鉄道と飯豊川橋梁等, 産業考古学, 5
- 青木栄一, 日本の産業私鉄の発達序説, 『自然と文化』(神尾明正先生退官記念論文集), 神尾明正先生退官記念事業実行委員会
- 青木栄一, 武蔵野の開発と郊外鉄道網の発達, 地理, 23(12)
- 石井道郎, 秋川谷交通小史—五王バスと五日市鉄道物語—, 多摩のあゆみ, 11
- 大坪省三, 多摩地方「幻の鉄道敷設計画」, 多摩のあゆみ, 11
- 淡野明彦, 日本の主要観光地における大手私鉄資本進出の実態, 新地理, 25(4)
- 白土貞夫, 新勝寺参詣客輸送をめぐる成田, 総武両鉄道の抗争, 成田市史研究, 5
- 武井 武, 川越鉄道の創業, 多摩のあゆみ, 11
- 武知京三, 和歌山における鉄道敷設概況, 和歌山の研究, 4

福田泰幸，初期アメリカ鉄道業と会計情報(2)，商
経学叢，59

老川慶喜，明治中・後期埼玉県下における馬車鉄
道の展開，日本歴史，367

老川慶喜，明治中期関東地方における横断線の建
設計画—関東鉄道計画線（川越—成田間）に
ついて—，地方史研究，155

1979年

宇佐美ミサ子，小田原電気鉄道の成立と展開，小
田原地方史研究，10

塩原正典・小早川隆夫，古いレールの実態調査，
産業考古学，12

菊池一郎・淡野明彦，伊勢志摩における観光開発
の展開と経済的効果，奈良教育大学紀要人文
・社会科学，28(1)

原田勝正，鉄道技術の自立過程における専門官僚，
歴史評論，350

今城光英，阪堺鉄道会社の設備金融，経営史学，
13(2)

佐久間隆人，19世紀後半におけるイギリス鉄道業
の収益率低下の原因に関する一考察，経済系
（関東学院大学経済学会），119

小池重喜，群馬鉄道馬車株式会社の前史及び「電
化」計画について，高崎経済大学付属産業研
究所紀要，14

星野誉夫，明治初年の私鉄政策—「鉄道国有主義
説」・「幹線官設主義説」の再検討—，武蔵大
学論集，27(3・4・5)

青木栄一，地方都市における交通網の再編成（第
IV章第4節），青木栄一ほか編『現代日本の
都市化』，古今書院

増井健一，Transport and Regional Policy in Ja-
pan, Transport and Regional Development—
An International Handbook (W.A.G. Blonk
ed.)

飯塚一雄，碓氷第3橋梁，産業考古学，11

林 武，Historical Background of Technology
Transfer, Transformation, and Development
in Japan, Project on Technology Transfer,

Transformation, and Development; The Ja-
panese Experience, HSDRJE-19/UNUP-48

老川慶喜，川口鑄物業の展開と輸送，関東学園大
学大学院紀要，2

1980年

井口悦男，戦後の都電にあった小さな乗車券 そ
の短い発行期間について—全線均一料金制か
ら系統別均一制移行のはざま—，史学，49(4)

宇田 正，阪和電気鉄道の成立と泉南人・谷口房
蔵—国鉄阪和線前史の一駒—，泉南市史紀要，
8

宇田 正，明治中期—地方鉄道計画にかかる路線
調査とその背景—津和野線関係実地測量をめ
ぐる史料を中心に—，追手門経済論集，XIV
(2・3)

原田勝正，Technological Independence and
Progress of Standardization in the Japanese
Railways, The Developing Economics, XVIII
(3)

原田勝正，鉄道技術の自立と規格化の進行，国連
大学「人間と社会の開発プログラム」研究報
告

佐藤英達，大正年間—地方鉄道計画における資金
問題—井笠鉄道の優先株発行を中心として—，
追手門学院大学経済学学生論集，6・7

三浦 忍，戦後大阪府枚方市域における旅客輸送
の展開について，歴史研究，21

小川 功，明治末期，大正初期における生保の財
務活動—電灯，電鉄事業への関与を中心とし
て—，生命保険経営，48(5)

西藤二郎，小林一三とその上司たち，京都学園大
学論集，9(2)

青木栄一，創業期のわが国鉄道と外国語文献，明
治期鉄道史資料月報，1

青木栄一，鉄道記念碑の表と裏，明治期鉄道史資
料月報，2

中務一郎，日本民営鉄道経営史の考察（I）—伊
那電気鉄道—，千葉商大論叢，18(3)

武知京三，紀勢線の開通と紀南の旅—戦前昭和期

- の動向を中心として一、近代風土, 10
武知京三, 大阪・和歌山間の鉄道建設について—
国鉄阪和線生誕の過程—, 大阪の歴史, 2
福田行高, 教科書を通じてみた学校教育と交通,
新地理, 27(4)
立川 勇, SLが県指定文化財に, 産業考古学,
15
老川慶喜, 明治中期銚子港における鉄道建設—總
武鉄道成立過程の一問題—, 経営史学, 15(2)

1981年

- 宇田 正, 山を越える鉄橋—三信鉄道のこと, 同
人誌・雲, 24
菊岡俱也, 鉄道碑等調査の結果報告 (抜粋), 産
業考古学, 19
菊岡俱也, 鉄道碑等調査の結果報告 (抜粋) 続き,
産業考古学, 20
原田勝正, Technological Independence and Pro-
gress of Standardization in the Japanese
Railways, Project on Technology Transfer,
Transformation, and Development; The Ja-
panese Experience, HSDRJE-36/UNUP-223
原田勝正, 神奈川県鉄道史 (上), 神奈川県史通
史編, 6
原田勝正, 鉄道導入と技術自立への展望, 国連大
学「人間と社会の開発プログラム」研究報告
佐藤英達, 本邦地方鉄道企業金融史の一研究, 追
手門学院大学経済学学生論集, 8
小川 功, 我国生保草創期における多角化の萌芽
—日本生命による損保, 銀行等の多角経営—,
保険学雑誌, 494
小川 功, 関西鉄道の統合過程と片岡直温(2)—紀
和再建と近畿諸鉄道大合同—, 鉄道史研究会
会報, 2
小池重喜, 伊香保電気軌道株式会社の成立と展開,
高崎経済大学附属産業研究所紀要, 16(2)
瀬古龍雄, 史料紹介“佐渡の鉄道”—佐渡支庁文
書「戦後経営会支部書類」から—, 県史研究
(新潟県史編さん委員会), 9
星野誉夫, 明治初年の私鉄政策と関西鉄道会社(1),
武蔵大学論集, 29(1)
生田保夫, アメリカ国民経済の生成と鉄道建設・
付属資料(1)(2), 流通経済大学論集, 16(1), (2)
西藤二郎, 岩下清周の経営理念をめぐる—三井
銀行時代までを中心として—, 京都学園大学
論集, 10(1)
青木栄一, 転機にきた過疎地域の公共交通, 地域,
7
青木栄一, 東京大都市圏における貨物鉄道網の形
成, 辻本芳郎編『工業化の地域的展開—東京
大都市圏—, 大明堂
浅香勝輔, 鉄道と歴史的景観, 地理, 26(11)
辰巳 博, 大阪市電記念保存の経緯, 産業考古学,
21
池田博行, ポーランド国の狭軌鉄道小史, 専修大
学社会科学研究所月報, 220
池田博行, 歴史に見る鉄道政策—憶測—, 専修
大学社会科学研究所月報, 213
中川浩一, アルプスを越えた民部公子, 茨城県史
研究, 47
中務一郎, 日本民営鉄道経営史の考察 (II) —伊
那電気鉄道—, 千葉商大論叢, 19(1)
内田星美, 夕張駅の石炭積込設備, 産業考古学,
21
武知京三, わが国軽便鉄道史の一側面—山東軽便
鉄道の場合—, 歴史研究, 21
武知京三, 紀勢線の敷設問題とその周辺, 近畿大
学短大論集, 13(2)
武知京三, 都市交通史の研究—和歌山の市内電車
について—, 阪南論集社会科編, 16(3・4)
武知京三, 和歌山鉄道の「沿線案内」に寄せて—
南海貴志川線前史—「南海と沿線の100年」
のページ5—, 南海道研究 (南海道総合研究
所), 51
武知京三, 南海高野線の成立過程(1)(2) (「南海と
沿線の100年」のページ6, 7), 南海道研究
(南海道総合研究所), 52, 53

1982年

- 関 秀志, 幌内鉄道の産業遺跡と産業記念物, 地

- 理, 27(7)
- 橋谷 弘, 朝鮮鉄道の満鉄への委託経営をめぐる一第一次世界大戦前後の日帝植民地政策の一断面一, 朝鮮史研究会論文集, 19
- 君島光夫, 東京における黎明期の地下鉄づくりに対する史的考察, 日本土木史研究発表会論文集, 2
- 原田勝正, 神奈川県鉄道史(下), 神奈川県史通史編, 7
- 佐藤英達, 電鉄企業の発展と転換社債—土佐電鉄の事例一, 甲南論叢(甲南大学大学院社会科学研究会), 10
- 三井田圭右, 山村地域の観光開発—西武資本による新潟湯沢町三国・三俣地域を事例として一, 大東文化大学経済論集, 33
- 小川 功, 関西鉄道の国有化反対運動の再評価—片岡直温の所論紹介一, 運輸と経済, 42(10)
- 松原 宏, 大手不動産資本による大規模住宅地開発の地域的展開, 経済地理学年報, 28(4)
- 松原 宏, 東急多摩田園都市における住宅地形成, 地理学評論, 55(3)
- 新谷洋二・松谷春敏, 横浜における路面電車の役割の変遷に関する考察, 日本土木史研究発表会論文集, 2
- 瀬古龍雄, 信越電力中津川発電所工事における資材輸送手段としての軌道その他について及び関連資料紹介“雑件”綴, 津南町史編集資料, 10
- 星野誉夫, 明治初年の私鉄政策と関西鉄道会社(2), 武蔵大学論集, 29(5・6)
- 生田保夫, アメリカ国民経済の生成と鉄道建設・付属資料(3)(4)(5), 流通経済大学論集, 16(4), 17(1), (2)
- 西藤二郎, 岩下清周と北浜銀行—彼の経営理念をめぐる一, 京都学園大学論集, 10(2)
- 西野保行・小西純一・測上龍雄, 日本における鉄道用レールの変遷—残存する現物の確認による追跡一, 日本土木史研究発表会論文集, 2
- 青木栄一, 軽便鉄道網とその車輛の発達—静岡県西部地域を例として一, 国際連合大学人間と社会の開発プログラム研究報告, 国際連合大学
- 青木栄一, 国鉄ローカル線と地域社会, Mobility, 46
- 青木栄一, 鉄道忌避伝説に対する疑問, 新地理, 29(4)
- 青木栄一, 都市化の進展と鉄道技術の導入, 国際連合大学人間と社会の開発プログラム研究報告, 国際連合大学
- 谷内 達, オーストラリア奥地の地域開発—鉱山鉄道と鉱業都市を中心に一, 地学雑誌, 91(1)
- 中川浩一, 保存蒸気機関車と鉄道博物館, クオリ(コインブックス11)
- 土屋俊幸, 交通資本による観光開発の展開過程—戦後期一, 林業経済, 407
- 武知京三, 西成鉄道の成立と展開—日本鉄道史の一断面一, 大阪の歴史, 7
- 武知京三, 日本鉄道史に関する一覚書—鉄道国有化前後の動向一, 近畿大学短大論集, 14(2)
- 平野雅也, 国鉄ローカル線問題と公共交通, 法政大学地理学集報, 11
- 北島 修, 過疎地域における交通現象と交通機関の機能—鳥根県邑智郡を事例として一, 経済地理学年報, 28(3)
- 北島 修, 国鉄福知山線の敷設過程と機能の変遷, 人文論究(関西学院大学大学院), 32(2)
- 野尻 亘, 鉄道輸送を中心として見た素材的工業製品輸送の地域構造—セメント・石油・木材チップの場合一, 人文地理, 34(6)
- 老川慶喜, 鉄道開通前山梨県物産移入概況—佐分利一嗣「甲信鉄道」を中心に—, 地方史研究, 179

1983年

- 宇田 正, 鉄道史学会の発足について, 追手門経済論集, X VIII(2)
- 宇田 正, 明治10年代本邦鉄道についての—外国人の観察—エルンスト・フォン・スタイン稿「日本内地鉄道論」の紹介一, 追手門経済論集, X VII(2・3)

岡田 清, 地方自治体とローカル線, 地理, 28(11)
君島光夫, 東京における都市高速鉄道網の変遷に
関する史的考察, 日本土木史研究発表会論文
集, 3
原田勝正, 日本の工業化と鉄道網の形成, 社会経
済史学, 48(5)
今井 寛, 1897年英国製の転車台, 産業考古学,
29
今井圭子, アルゼンチンの鉄道業とパンパの変容,
社会経済史学, 48(5)
今野修平, 地域開発とローカル線の役割, 地理,
28(11)
森杉寿芳・橋本有司, 明治期鉄道網形成の開発効
果の測定, 日本土木史研究発表会論文集, 3
水野彌彦, ローカル線問題の視点, 地理, 28(11)
瀬古龍雄, 雪国におけるローカル線問題, 地理,
28(11)
星合英二, 商品自動車の輸送手段の変化とその背
景, 新地理, 31(2)
生田保夫, アメリカ国民経済の生成と鉄道建設・
付属資料(6)(7)(8)(9), 流通経済大学論集, 17(3)
(4), 18(1), (2)
西藤二郎, 「大軌」経営者の経営理念—創草期を
中心として—, 京都学園大学論集, 11(2)
西藤二郎, 「大軌」の経営環境と金森の経営理念,
京都学園大学論集, 12(2)
西野公晴, 過疎地域における交通需要と交通機能
に関する研究—三重県—志郡美杉村の事例—,
新地理, 31(2)
西野保行・小西純一・湖上龍雄, 日本における鉄
道用レールの変遷—残存する現物の確認によ
る追跡(第2報)—, 日本土木史研究発表会
論文集, 3
青木栄一, 教育問題としてのローカル線, 地理,
28(11)
青木栄一, 国鉄ローカル線と教育問題, 運輸と経
済, 43(12)
青木栄一, 大正期の鉄道に見る「地方の時代」(1)
(2), 大正期鉄道史資料月報, 1, 2
青木栄一, 南部縦貫鉄道の成立と地域社会, 大

塚・筑波人文地理研究会編『高度経済成長期
の地域変容』, 古今書院
青木栄一, 日本における鉄道史研究の系譜, 交通
史研究, 9
中川浩一, ロープウェイの産業考古学, 産業考古
学, 30
中川浩一, 地方都市におけるローカル線, 地理,
28(11)
湯沢 威, イギリス鉄道業の発展と輸送, 社会経
済史学, 48(5)
武知京三, 地域社会における鉄道誘致運動の展開
—紀勢西線御坊延長をめぐる—, 交通史研
究, 9
平野雅也, 国鉄交通対策の進展と沿線地域—地域
と国鉄経営・総合交通対策のありかた—, 掲
載誌不明, 巻号不明
鈴木 哲・大熊 孝・米内弘明・桐生三男, 除雪
技術の変遷に関する研究—主として流雪溝に
ついて—, 日本土木史研究発表会論文集, 3
老川慶喜, 両毛機業地における織物業の展開と鉄
道輸送, 関東学園大学大学院紀要, 1

1984年

“文化”としての鉄道—鉄道史学会第2回大会か
ら—, 毎日新聞, 1984年8月30日夕刊
宇田 正, 国有化前夜の関西鉄道における経営姿
勢の一展開—城河短絡新線計画に関する覚書
—, 追手門経済論集, X IX(2)
宇田 正, 西オーストラリア州営鉄道体系の形成
とその展開—WAGRからWESTRAILへ—,
鉄道史学, 1
角本良平, Railway Problems in Japan and in
the World—Typology of “Ill-managed” and
“Well-managed” —, The Waseda Business
& Economic Studies, 20
吉川文夫, 同和鉱業(小坂)の保存客車, 産業考
古学, 33
原田勝正, 鉄道の発達と駅, 交通史研究, 12
原田勝正, 鉄道史研究における政策と技術, 鉄道
史学, 1

- 今野修平，東海道新幹線20年の軌跡，地理，29(7)
- 小山 徹，鉄道史における工学技術序論—電気鉄道技術の成り立ちを中心にして—，鉄道史学，1
- 瀬古龍雄，電源開発と飯山鉄道，津南町史編集資料，19
- 瀬古龍雄，飯山鉄道と地元寄付金問題—不況期に金策に苦しむ零細山村の実態—，鉄道史学，1
- 生田保夫，アメリカ国民経済の生成と鉄道建設・付属資料(10)(11)(12)，流通経済大学論集，18(3)(4)，19(1)
- 西藤二郎，諸指標でみる草創期の関西鉄道，京都学園大学論集，13(1)
- 西藤二郎，明治・大正期の奈良県と中心とする鉄道敷設運動—未成線を中心として—，京都学園大学論集，13(2)
- 中川浩一，鹿島参宮鉄道の設立と展開，鉄道史学，1
- 天野光三・前田泰敏・二十軒起夫，東大阪地域における鉄道網の発達過程について，日本土木史研究発表会論文集，4
- 湯沢 威，イギリス鉄道史研究の最近の動向，鉄道史学，1
- 堂柿栄輔・佐藤馨一・五十嵐日出夫，明治開拓期における札幌の交通，日本土木史研究発表会論文集，4
- 福田行高，国鉄第一次特定地交線への軌跡，運輸と経済，45(7)
- 北 正巳，19世紀スコットランド鉄道業と日本，鉄道史学，1
- 老川慶喜，Market Structure and the Construction of Rural Railways during the Formative Period of Industrial Capitalism in Japan, The Journal of Transport History, 3rd Ser. 5(2)
- 1985年
- 伊東 孝・土屋幸正，信越線横川駅跨線橋の保存対策と碓氷線に残る歴史的土木構造物群—その現状と土木史的価値検討の試み—，日本土木史研究発表会論文集，5
- 宇田 正，鉄道文化と近代社会—鉄道日本文化史への試論—，鉄道史学，2
- 宇田 正，陸運業，経営史学の20年—回顧と展望—，経営史学会
- 亀井一男，交通を通じて半世紀前をおもう，神戸史談，257
- 吉川文夫，阪神電気鉄道のレンガ造り建物考，産業考古学，37
- 吉谷和典，ロムニー・ハイス・アンド・タイムチャーチ鉄道の成立と発展，鉄道史学，2
- 君島光夫，鉄道先人②—早川徳次，汎交通，85(2)
- 原田勝正，旅行者の見た駅前の魅力，晨，1985. 8
- 高橋泰隆，南満州鉄道株式会社（満鉄）史研究の現状と課題，鉄道史学，2
- 佐藤英達，明治末期一地方鉄道の経営計画とその挫折—温泉廻遊鉄道の事例—，鉄道史学，2
- 小西純一・西野保行・瀧上龍雄，明治期に製作された鉄道トラス橋の歴史と現状（第1報）—200フィートダブルワーレントラスを中心として—，日本土木史研究発表会論文集，5
- 小川 功，生保財務論（I）—生保財務発達史（明治・大正期）—，生命保険文化研究所
- 小川 功，民間活力による社会資本整備の歴史—土木分野における官民協力を中心として—，土木学会誌，1995. 5
- 小谷正典，1920年代の電気鉄道敷設計画—福井市の都市構造の変質と環状線敷設構想—，福井県史研究，2
- 小谷正典，北陸線の敷設について，研究集録（福井県立藤島高校），24
- 生田保夫，アメリカ国民経済の生成と鉄道建設・付属資料(13)，流通経済大学論集，19(3・4)
- 西藤二郎，京都府下・丹波地区における鉄道敷設運動，京都学園大学論集，14(2)
- 青木栄一，イギリスにおける最近の大都市交通，Mobility，59
- 青木栄一，メソスケールの鉄道史に関する考察，

- 東京学芸大学紀要第3部門社会科学, 37
- 青木栄一, わが国の鉄道史研究における外国語文献の意義と性格, 鉄道史学, 2
- 青木栄一, 観光開発と日本の鉄道, 観光文化 (日本観光協会), 53
- 青木栄一, 都市交通における中量交通機関の役割, 都市問題研究, 37(11)
- 大場茂明, 中部ルール地方における集落発展に対する公共近距離旅客交通 (OPNV) の影響, 人文地理, 37(2)
- 大島登志彦, 孀恋村における交通機関の変遷, 群馬県立孀恋高等学校研究紀要, 10
- 中務一郎, アメリカ鉄道史研究の動向, 鉄道史学, 2
- 張 文嘗, 北京の都市鉄道, 地理, 30(11)
- 天野光三・前田泰敏・二十軒起夫, 東大阪地域における鉄道網の発達過程について (その2), 日本土木史研究発表会論文集, 5
- 湯沢 威, The Introduction of Electric Railways in Britain and Japan, The Journal of Transport History, 3rd ed., 6(1)
- 藤田貞一郎, 江若鉄道の成立と天津市, 鉄道史学, 2
- 白井 昭, 大井川鉄道千頭駅の古典レール, 産業考古学, 36
- 白井 昭, 東海道線磐田駅跨線橋, 産業考古学, 35
- 白土貞夫, 成田鉄道をめぐる幻の鉄道網—成芝鉄道建設計画を中心として—, 成田市史研究, 10
- 箸本健二, 遠州鉄道の分析—鉄道旅客の変動に見る浜松都市圏の地域構造変化—, 法政地理, 13
- 武知京三, 大阪市営交通事業の展開と労働運動—1920年代の動向を中心として—, 近畿大学労働問題研究, 20
- 武知京三, 南海鉄道の電化と労務問題一斑, 鉄道史学, 2
- 野田正穂, 西武コンツェルンの形成について, 鉄道史学, 2

鈴木文彦, 国鉄ローカル線の機能と転換または再生への展望, 運輸と経済, 46(10)

1986年

- 宇田 正, 長谷川如是閑と南海沿線 (I) —天下茶屋からの大阪郊外文化論— (「南海と沿線の100年」のページ, 60), 南海道研究 (南海道総合研究所), 108
- 宇田 正, 長谷川如是閑と南海沿線 (II) (III) (IV) —「泉州行脚」の足跡をたどる— (「南海と沿線の100年」のページ, 61, 62, 63), 南海道研究 (南海道総合研究所), 109, 110, 111
- 吉川文夫, 東京・日黒通りの都電の遺産, 産業考古学, 39
- 原田勝正, 国鉄問題の歴史的背景, 鉄道史学, 4
- 五味武臣, 石川県における鉄道を中心とした交通網の形成過程 (明治期), 金沢大学教育学部紀要, 人文科学・社会科学編, 35
- 後藤正人, 現代交通権訴訟の一流—1885年, 幌内鉄道運賃減額請願運動—, 和歌山大学教育学部紀要人文科学, 35
- 今井圭子, Research Note, on Argentine Railway Traffic and Profits prior to Nationalization, 鉄道史学, 3
- 今城光英, 国鉄改革の課題と視点, 地理, 31(11)
- 今城光英, 国鉄改革をめぐる諸問題とその歴史的な性格, 鉄道史学, 4
- 今野修平, 交通体系の変化と鉄道交通, 地理, 31(11)
- 佐藤豊彦, 朝鮮鉄道史の研究動向, 鉄道史学, 3
- 細田繁雄, わが国における交通研究の史的展開—交通学説史研究会編「交通学説史の研究」をみる—, 交通史研究, 15
- 桜井 徹, 鉄道国有化 (1906—07) と国鉄分割・民営化—その比較検討—, 鉄道史学, 4
- 三浦 忍, 大正期・佐世保電気軌道の敷設計画について, 長崎県立国際大学論集, 19(4)
- 山口和雄, 近代的輸送機関の発達と商品流通—北陸・北越地方の場合—, 山口和雄・石井寛治編: 『近代日本の商品流通』, 東京大学出版会

- 小山 徹，ストックホルムの都市鉄道の技術史的考察—市街馬車鉄道から地下電気鉄道まで—，鉄道史学，4
- 小川 功，宮城電気鉄道の設立動機と設備金融—親会社高田商会の破綻と生保融資—，鉄道史学，3
- 小川 功，民間活力論と生保創業者の実践活動—湖東鉄道，東京高速鉄道による民間代行—，生命保険経営，54(2)
- 小野田滋，橋梁架設用操重車ソ1形の歴史，日本土木史研究発表会論文集，6
- 松原 淳・山川 仁，戦前の東京圏における民営鉄道による沿線開発と学園町の形成，日本土木史研究発表会論文集，6
- 深水正元，ローカル鉄道の廃止転換と地域づくり，地理，31(11)
- 星野誉夫，明治前期の鉄道政策，鉄道史学，4
- 生田保夫，アメリカ国民経済の生成と鉄道建設・付属資料(14)(15)(16)，流通経済大学論集，20(1・2・3・4)，21(1)，(2)
- 西藤二郎，撰丹鉄道の計画と挫折，京都学園大学論集，14(3)
- 西藤二郎，大和鉄道の敷設過程と経営者理念，鉄道史学，3
- 西野保行・小西純一・測上龍雄，明治期に製作された鉄道トラス橋の歴史と現状—英国系トラスその2—，日本土木史研究発表会論文集，6
- 青木栄一，近代交通史研究における歴史地理学の性格と方法，歴史地理学紀要，28
- 青木栄一，湖東線の建設と地域社会，草津市史第3巻巻報
- 青木栄一，世界史の中の国有鉄道，地理，31(11)
- 青木栄一，鉄道史研究の視点と問題点，鉄道史学，3
- 大場茂明，ドイツ連邦共和国における近年の公共近距離交通(OPNV)の動向，人文研究(大阪市立大学文学部)，38(7)
- 大島登志彦，上田交通における鉄道廃止とバス事業との関係，鉄道史学，3
- 大野浩光，和賀軽便鉄道の成立と地域社会，鉄道史学，4
- 中岡良司・森 弘・佐藤馨一・五十嵐日出夫，交通路の発達による時間距離の変遷について—リージョナル・データベースを用いて，日本土木史研究発表会論文集，6
- 中川浩一，日本最古の鉄道トラス橋の保存を実現させよう，産業考古学，39
- 中村雅一・稲葉克巳・渡辺貴介，戦前の関東圏における観光関連鉄道路線の展開と誘客策に関する研究，日本土木史研究発表会論文集，6
- 田中俊宏，近年のフランス鉄道史の研究について，鉄道史学，4
- 藤井信夫，大阪近郊における私鉄電車の発達，鉄道史学，4
- 藤田貞一郎，近江の近代化と鉄道—近江鉄道を中心に—，湖国と文化，35
- 白井 昭，解体を待つ国電モハ一形，産業考古学，42
- 半田市立博物館，武豊線100年のあゆみ，半田市立博物館
- 鈴木文彦，国鉄分割・民営化で何が変わる，地理，31(11)
- 老川慶喜，『東海経済新報』の鉄道論，立教経済学研究，33(3)
- 老川慶喜，上武(秩父)鉄道会社の建設と資金調達，鉄道史学，3
- 1987年 ■
- 安部誠治，1860—1880年代フランスにおける鉄道建設と鉄鋼業にかんする覚書，鉄道史学，5
- 宇田 正，昭和戦前までの京阪電鉄経営の展開と太田光熙，鉄道史学，5
- 宇田 正，石の鳥居かく語りき—東海道本線付替えと山科，同人誌・雲，39
- 宇田 正，長谷川如是閑と南海沿線(V)—「泉州行脚」の足跡をたどる—(「南海と沿線の100年」のページ72)，南海道研究(南海道総合研究所)，120
- 吉川文夫，加悦鉄道の保存車両，産業考古学，43

- 吉川文夫, 日本における電気車用集電装置の変遷, 鉄道史学, 5
- 三浦 忍, 大正期地方都市電気軌道計画の失敗について—佐世保電気軌道の場合—, 鉄道史学, 5
- 三木理史, 「鉄道忌避」に関するノート—埼玉県の史料を用いて—, 千里地理通信 (関西大学地理学研究会), 16
- 山口平四郎, 中国東北 (旧満州) における近代的交通路の形成, 立命館文学, 499
- 小西純一・西野保行・測上龍雄, 明治時代に製作された鉄道トラス橋の歴史と現状 (第3報)—ドイツ系トラス桁—, 日本土木史研究発表会論文集, 7
- 小川 功, 佐伯宗義の私鉄経営と日本興業銀行の支援—信達軌道再建から富山地方鉄道統合まで—, 鉄道史学, 5
- 小川 功, 大阪生命の生保乗取と日本生命の対応—鴻池財閥から山口財閥への移動説の吟味—, 保険学雑誌, 516
- 小宅幸一, 常磐地方の鉄道—民営鉄道の盛衰をたどって—, 私家版
- 小野田滋, 国有鉄道における地質調査の黎明と発展—鉄道省土質調査委員会前史—, 日本土木史研究発表会論文集, 7
- 新谷洋二・堤 佳代, 旧城下町における鉄道の導入とその後の町の変容に関する研究, 日本土木史研究発表会論文集, 7
- 杉本嘉八, 三重県における明治20年代企業の動向—三重紡績・関西鉄道を主として— (共通課題報告要旨), 地方史研究, 208
- 生田保夫, アメリカ国民経済の生成と鉄道建設・付属資料(17)(18)(19)(20), 流通経済大学論集, 21(3)(4), 22(1)(2)
- 西藤二郎, 小林一三における戦略と組織風土, 京都学園大学論集, 16(3)
- 西藤二郎, 電鉄経営を中心とした小林一三の革新性の根拠, 鉄道史学, 5
- 西野保行・小西純一, 現存するわが国最初の鉄道用鉄桁—70ftボニーワーレントラス—, 日本土木史研究発表会論文集, 7
- 青木栄一, イギリスにおける近代交通史研究, 交通史研究, 18
- 青木栄一, 交通地理学への一展望—近代交通機関の地理学的分析のために—, 人文地理, 39(6)
- 青木栄一, 鉄道史資料としての技術雑誌—『工学叢誌・工学会誌』を例として—, 鉄道史学会会報, 4
- 石井常雄, 両毛鉄道会社の研究, 私家版
- 大島登志彦, 群馬県における交通機関の変遷と交通文化財の現状, 群馬県高等学校教育研究会歴史部会紀要, 16
- 大島登志彦, 地域社会における草軽電鉄のあゆみと意義—身近な地域の交通発達に関する教材事例—, 群馬県立嬭恋高等学校研究紀要, 11
- 渡辺 均, 温泉電軌の成立とその性格, 鉄道史学, 5
- 湯沢 威, イギリス経営史研究の現状, 経営史学, 21(4)
- 萩原 充, 「華北経済提携」をめぐる日中関係—鉄道と資源開発を中心に—, 社会経済史学, 53(4)
- 武知京三, 私鉄経営者論の課題—大軌経営陣の素描—, 鉄道史学, 5
- 武知京三, 時局下南海鉄道の一動向—「社報」にみる諸相, 和歌山地方史の研究 (安藤精一先生退官記念論文集)
- 武知京三, 鉄道国有化前在阪私鉄の一動向, 近畿大学労働問題研究, 24
- 武知京三, 日本資本主義と地方中小私鉄の成立—三重県域における一事例—, 日本中小企業学会編: 『高度情報化と中小企業』, 同友館
- 野尻 亘, 近年における石油輸送手段の選択利用の変化—第一次石油ショック以降の石油需給の変化と内航海運の動向に関連して—, 経済地理学年報, 33(1)
- 鈴木文彦, 過疎地域における通園・通学の交通問題, 竹早教員養成所研究紀要, 2
- 老川慶喜, 「東武沿線産業振興会」関係書類 (昭和7年), 松平記念経済・文化研究所紀要,

5
老川慶喜, 根津嘉一郎と東武鉄道会社の経営再建,
鉄道史学, 5
老川慶喜, 昭和前期の埼玉県生鮮食料品市場政策,
市場史研究, 4

1988年

宇田 正, 〈動向〉鉄道会社史に関する一考察(西
日本篇), 経営史学, 23(3)
奥平忠志, 青函トンネルと青函連絡船, 地理, 33
(3)
下村彰男, 観光地空間との関わりから見た交通機
関の史的展開, 造園雑誌, 51(5)
吉田昌夫, 東アフリカにおける鉄道建設と植民地
経済の発展, 鉄道史学, 6
久保田博, 戦後日本鉄道史の論点, 鉄道史学, 6
原田勝正, お召列車論序説, 遠山茂樹編:『近代
天皇制の展開』, 岩波書店
原田勝正, 日本の近代化と国有鉄道の役割, 交通
史研究, 19
五味武臣, 北陸における海上交通の変遷—鉄道発
達との関連から—, 金沢大学教育学部紀要人
文学部・社会科学編, 37
今井圭子, ラテンアメリカの鉄道とモノカル
チャー経済—鉄道投資を中心に—, 鉄道史学,
6
佐藤信之, 船橋鉄道の挫折と北総鉄道の開通まで,
船橋市史研究, 3
佐藤豊彦, 植民地支配確立期の朝鮮鉄道の形成,
鉄道史学, 6
左近晴久, 有田鉄道の形成と展開, 教育研究紀要
(和歌山県立和歌山東高校), 13
三木理史, 近代交通形成過程における鉄道交通の
機能変化—三重県伊賀地方の場合—, 歴史地
理学, 143
持田 豊, 青函トンネル建設技術と英仏海峡トン
ネル, 地理, 33(3)
執筆者不明, 杉津駅幻景, ウォーク万葉, 15
小関和弘, 陸蒸気の衝激—京浜間鉄道の文化史—,
エスキス88和光大学人文学部紀要別冊

青木: 青木栄一所蔵 鉄道史関連雑誌論文目録

小山 徹, 電気鉄道における集電技術と電車線方
式のシステマ的確立過程, 鉄道史学, 6
小西純一・西野保行・淵上龍雄, 明治時代に製作
された鉄道トラス橋の歴史と現状(第3報)
—米国系トラス桁その1—, 日本土木史研究
発表会論文集, 8
小風秀雅, 鉄道国有化と運輸網の再編, 高村直助
編『日露戦後の日本経済』, 塙書房
小野田滋, わが国における鉄道トンネルの沿革と
現状—旧・関西鉄道をめぐって—, 日本土木
史研究発表会論文集, 8
信賀喜代治, 幻の江別町営人力鉄道—創設から終
焉までの経緯を辿る—, 北海道史研究(北海
道史研究会), 40
生田保夫, アメリカ国民経済の生成と鉄道建設・
付属資料(21)(22), 流通経済大学論集, 22(3)(4)
青木栄一, 海を渡る橋とトンネル—陸をつなぐこ
との意義とその歴史地理学—, 地理, 33(3)
青木栄一, 新橋～神戸間20時間5分—東海道線全
通—, 土木学会中部支部編『国造りの歴史—
中部の土木史—』, 名古屋大学出版部
青木栄一, 第3セクター鉄道の成立と展開, 運輸
協会誌, 352
青木栄一・小松 丘・鈴木文彦, 特定地方交通線
の転換と第3セクター鉄道, 東京学芸大学紀
要第3部門社会科学, 40
赤レンガの東京駅を愛する市民の会, 赤レンガの
東京駅—その保存・復元に向けて—, 谷根千
工房
赤地祐一, 神奈川県における鉄道網の形成, 『神
奈川県自然と人文』(伊倉退蔵先生退官記
念論文集)
浅香勝輔, 民営鉄道の歴史的景観への研究的視座,
鉄道史学, 6
相浦秀也, 野田線の歴史—県営から東武まで—,
流山研究・におどり(流山市立博物館友の
会), 7
谷口良忠, 鉄道省文書「里見軌道」, 私家版(群
馬県立図書館蔵)
竹内清和, 東京駅煉瓦考, 産業考古学, 50

- 中西健一, 交通研究の方法はいかにあるべきか—
角本交通3部作によせて—, 季刊輸送展望,
206
- 中島 昭, 博多湾鉄道の成立過程, 西南地域史研
究, 6
- 堤 一郎, 好間軌道の消長—その沿革と車両の概
要—, 研究紀要 (茨城職業訓練短期大学
校), 2
- 天野光三・前田泰敏・二十軒起夫, 関西地方にお
ける寺社参詣鉄道の成立と発展について, 日
本土木史研究発表会論文集, 8
- 田中真人, 鉄道の「上り・下り」に歴史をみる,
日本歴史, 477
- 湯沢 威, イギリス鉄道企業家群像, 鉄道史学,
6
- 武知京三, 日本資本主義と地方中小私鉄の展開—
松阪電気鉄道の興亡を中心として—, 藪内吉
彦退官記念論攷 (大阪郵政考古学会)
- 北島 修, マレーシアの鉄道建設と地域開発, 鉄
道史学, 6
- 笠原 香, 甲信鉄道史研究根本資料目録, 鉄道友
の会長野支部
- 鈴木順子, 福島県南会津地方における交通条件の
変化と観光地理学的特性, お茶の水地理, 29
- 鈴木正章, 古市公威と東京停車場, 日本土木史研
究発表会論文集, 8
- 老川慶喜, 〈動向〉鉄道会社社に関する一考察 (東
日本篇), 経営史学, 23(3)
- 老川慶喜, 資本主義確立期の鉄道建設構想—南清
の鉄道論策について—, 日本近代化の思想と
展開 (逆井孝仁教授還暦記念)
- 1989年 ■
- 岡田広一, 英語鉄道用語研究序説—英米の用語の
違いとその文化背景(1)—, 文学芸術研究 (大
阪電気通信大学文学語学研究会), 5
- 佐藤正広, 明治20年代における鉄道網形成の諸要
因—甲武鉄道の出願をめぐって—, 社会経済
史学, 54(5)
- 桜井 徹, ドイツ連邦鉄道 (DB) の経営改革の
動向とその特徴—日本国有鉄道 (JNR) の「分
割・民営化」との比較において—, 商学集志
(日本大学商学部), 59(1・2・3)
- 三木理史, 三石をめぐる東備地域の鉄道計画—備
前鉄道を中心として—, 岡山県史研究, 11
- 三木理史, 昭和初期における地方鉄道事業の形成
と産業資本—三重県・三岐鉄道の事例—, 歴
史地理学, 147
- 小西純一・西野保行・測上龍雄, 明治時代に製作
された鉄道トラス橋の歴史と現状 (第5報)
—米国系トラス桁その2—, 日本土木史研究
発表会論文集, 9
- 小池 滋, イギリスのリゾート都市と鉄道—ブ
ラックプールの場合, 鉄道史学, 7
- 小野田滋・司城能治郎・永井 彰・菊池保孝, わ
が国における鉄道トンネルの沿革と現状 (第
2報)—旧・京都鉄道, 旧阪鶴鉄道をめぐっ
て—, 日本土木史研究発表会論文集, 9
- 小林 實, 十勝の軌道 その1, トカプチ 十勝
郷土研究, 1
- 小林 實, 十勝の軌道 その2, トカプチ 十勝
郷土研究, 2
- 榛沢芳雄・為国孝敏, 東京の駅前広場計画の変遷
—明治時代から戦災復興期まで—, 日本土木
史研究発表会論文集, 9
- 星 良助, 幌内鉄道の運転時刻, 小樽市博物館紀
要, 5
- 西成田豊, 日本近代化と労資関係—官営鉄道労資
関係の史的構造—, 経済学研究 (一橋大
学), 30
- 青木栄一, 特定地方交通線転換の地域論的意義—
新生第3セクター鉄道を中心として—, 運輸
と経済, 49(10)
- 青木栄一, 日本の私鉄—その現代史的意義—, 広
岡治哉・渡部与四郎編『都市と交通—技術と
経済—』, 法政大学産業情報センター—
- 大島登志彦, 碓氷アプト線遺跡の保存運動, 産業
考古学, 54
- 大島登志彦, 地域社会における草軽電鉄のあゆみ
と意義—身近な地域の交通発達に関する授業

- 実践一，学芸地理（東京学芸大学地理学会），43
- 長沼映夫，野田人車鉄道（野田シリーズ18），野田市郷土博物館
- 長船友則，広島で初めて走った軽便汽車，中国地方鉄道史散策，1
- 長谷川孝彦，甲武鉄道成立の前提，国史学（国史学会），139
- 田中真人，1928年の天皇即位大典と鉄道輸送，鉄道史学，7
- 湯沢 威，イギリス経済の停滞と蒸気機関車輸出一日本市場をめぐる一，学習院大学経済経営研究所年報，3
- 藤井 建，東海道線岡崎駅の忌避運動の実態について，研究紀要（岡崎地方史研究会），17
- 藤井憲男，京都市電廃止過程の都市交通システムの考察，鉄道史学，7
- 内田知行，清末における鉄路総会社の設立と解消，鉄道史学，7
- 白井 昭，アメリカの電鉄技術を残す名鉄モ五一〇形電車，産業考古学，53
- 野田正穂・原田勝正・青木栄一・小山 徹・老川慶喜，鉄道史研究と技術について（座談会），鉄道史学会会報，7
- 老川慶喜，青果物市場の展開と交通・運輸一埼玉県南地方を中心に一，市場史研究，6
- 老川慶喜，日本煉瓦製造会社の経営と輸送問題，帝京経済学研究，23（1・2）
- 技法に関する研究，土木史研究，10
- 梶本元信，19世紀中葉における南ウェールズの運河と鉄道—グラモ—ガンシャー運河とタフ・ヴェール鉄道を中心に—，千里山経済学（関西大学大学院），23（1・2）
- 岸田修一，私鉄資本による生駒山の観光地化，和歌山地理，10
- 窪田陽一・長束裕行，鉄道施設に関する地図型土木史データベース検索システムの開発—駅及び橋梁について—，土木史研究，10
- 古田 崇・天野光一，駅前広場空間の設計思想及び手法に関する史的研究，土木史研究，10
- 佐藤信之，自動車運送事業規則の成立期に関する考察，公益事業研究，41(3)
- 佐藤信之，明治末期の地方道路行政と県営鉄道—有吉知事就任時期の千葉県の場合—，鉄道史学，8
- 三木理史，大正期における産業鉄道の地域的特質—岡山県東備地域を事例として—，人文地理，42(1)
- 三木理史，都市化と電気鉄道の技術展開—大阪大都市圏の郊外電気鉄道を事例として—，鉄道史学，8
- 山田徹雄，ドイツ資本主義と鉄道史研究，鉄道史学，8
- 山本 功・岡村康弘・上石俊之，加古川周辺における古レール使用鉄道構造物，土木史研究，10
- 市原久義・片寄紀雄・贅田秀世，東京市街線鉄道高架橋の設計，土木史研究，10
- 小西純一，わが国における英国系鉄道トラス桁の歴史，土木史研究，10
- 小川 功，九州民営社会資本と保険資金，九大学報，1990. 1
- 小川 功，大都市鉄道への経営転換と資金調達—阪神急行電鉄，大阪鉄道の対比を中心として—，鉄道史学，8
- 小野田滋・石留和雄・松岡義幸，土木史的観点から見た鉄道トンネルとその特徴(1)，日本鉄道施設協会誌，1990. 12

1990年

- 為国孝敏・榛沢芳雄，渋谷の駅空間形成の変遷，土木史研究，10
- 宇田 正，大都市鉄道の歴史像を求めて—シンポジウム「大都市鉄道の史的展開」のための問題提起—，鉄道史学，8
- 加藤新一，大都市鉄道の史的展開と鉄道政策—東京圏における都市鉄道交通の形成と鉄道政策—，鉄道史学，8
- 河村清春・小野田滋・木村哲雄・菊池保孝，関西地方の鉄道における「斜架拱」の分布とその

- 小野田滋・山田 稔・井上和彦・松岡義幸, わが国における鉄道トンネルの沿革と現状 (第3報) 一旧・官設鉄道長浜―神戸間をめぐって一, 土木史研究, 10
- 小林 實, 十勝の軌道(3)―十勝の治水工事等に使われた軌道一, トカプチ 十勝郷土研究, 3
- 小林 實, 十勝の軌道 その4―中小河川の工事に活躍した軌道一, トカプチ 十勝郷土研究, 4
- 新藤東洋男, 私鉄西海鉄道の敷設計画と財界の事情―永江純一文書に見る明治中期の事情, 交通史研究, 25
- 青木栄一, 欧米の軽電車の発達とその評価, 運転協会誌, 376
- 青木栄一, 大都市地域における鉄道史研究の視点, 鉄道史学, 8
- 青木栄一・栗原 清, 大井川鉄道の成立―ある電源開発鉄道の建設過程一, 歴史地理学, 150
- 祖田定一, 岡山県倉敷市下津井電鉄株式会社鉄道事業部ナローゲージよ永遠に! 資料集約編, 私家版
- 大河内信夫, 旧国鉄清水港駅のテルハ, 産業考古学, 56
- 大場茂明, 都市鉄道の発達と地域変容―日独近代都市を事例として一, 鉄道史学, 8
- 大島登志彦, 群馬県における鉄道文化財の現状とその意義, 群馬高専レビュー, 9
- 大島登志彦, 両毛線ものがたり―その100年のあゆみ一, 明るい行政 (群馬県総務部行政管理課), 4
- 丹羽俊彦, 東京駅における鉄道輸送機能の発達, 土木史研究, 10
- 堤 一郎, 茨城交通・湊線 那珂港機関区に残るイギリス製旋盤, 産業考古学, 58
- 堤 一郎・辻 恒平, 水戸市内に残る茨城交通水浜線の産業遺跡, 産業考古学, 56
- 田中美佐, 戦後における鉄道民主化に関する序論的考察―占領政策を中心の一, 明治大学大学院紀要, 27
- 渡邊恵一, 軽便鉄道法の成立―国有化後における鉄道政策の一側面一, 立教経済学論叢, 37
- 入江平門・西村 聡, 意識構造変化と地下鉄路線計画の歴史的発展過程, 土木史研究, 10
- 武田 泉, 北海道における鉄道廃止政策の展開と沿線地域社会―名寄線・池北線の事例を中心の一, 交通学研究, 1990
- 福田泰幸, 米国人運河・鉄道技師―Charles Ellet Jr. の業績一, 鉄道史学, 8
- 鈴木恒夫, 日本国有鉄道からJRへ, 土木史研究, 10
- 1991年**
- 安部誠治, 「鉄道と文化」序説―その分析視角と方法をめぐって一, 鉄道史学, 10
- 宇田 正, 中学生和辻哲郎と修学旅行―『初旅の記』・『自叙伝の試み』から―, 教育研究紀要 (追手門学院教育研究所), 10
- 宇田 正, 本邦鉄道発達の文化史的考察―柳田国男の所見を中心の一, 鉄道史学, 10
- 岡田広一, 鉄道用語にみるアメリカ鉄道文化史, 鉄道史学, 9
- 吉川文夫, 戸閉装置の技術と社会史, 鉄道史学, 10
- 吉川文夫, 鉄道車両・施設に見られるマークとその系譜, 産業考古学, 59
- 久保田博, 鉄道車両技術史における問題点, 鉄道史学, 9
- 久木尚史, イギリス鉄道業における調停制度 (1907―11年), 社会経済史学, 57(3)
- 原 輝史, 鉄道史研究の最近の動向―第10回国際経済史会議を中心の一, 鉄道史学, 9
- 原田勝正, 鉄道史研究と技術―問題提起にかえて一, 鉄道史学, 9
- 今城光英, Outcome of the Privatisation of the Japanese National Railways, 大東文化大学経営研究所, 12
- 桜井 徹, 旧西ドイツの私鉄経営の若干の特徴, 鉄道史学, 10
- 三木理史, 明治末期における地方公益事業の地域的展開―才賀電気商會を事例として一, 人文

- 地理, 43(4)
- 山岡茂樹, 復興期に非国鉄系車輛用ディーゼル—三菱DF・DE系機関をめぐって—, 鉄道史学, 9
- 篠田哲昭・中尾 努・早川寛志, 幕末・明治期における茅沼炭山の石炭輸送について, 土木史研究, 11
- 小関和弘, 文学の中の鉄道—その一断面—, 鉄道史学, 10
- 小松芳喬, ブラドショオ時刻表創刊150周年, 鉄道史学, 9
- 小西純一・西野保行・測上龍雄, 明治時代に製作された鉄道トラス橋の歴史と現状 (第6報)—国内製作桁—, 土木史研究, 11
- 小川 功, 大阪鉄道の経営と資金調達, 鉄道史学, 10
- 小川 功, 大阪鉄道の社債創始と保険会社の引受, 証券経済学会年報, 26
- 小川 功, 保険金融の展開と社会資本整備(序説)—明治・大正期の鉄道・電力投融资を中心に—, 保険学雑誌, 533
- 小川 功, 明治期における社債発行と保険金融—主要鉄道・工業10社の事例研究, 文研論集(生命保険文化研究所), 97
- 小川 功, 明治期の社債発行と保険会社の引受, 証券経済学会年報, 26
- 小川 功, 明治期の社債発行と保険会社の銘柄選好—長期, 大口, 確実性志向と鉄道債, 証券経済, 178
- 小風秀雅, 戦間期における京浜電鉄の路線拡張戦略—東京横浜電鉄との競合を軸として—, 市史研究よこはま, 5
- 小野田滋・石留和雄・松岡義幸, 土木史的観点から見た鉄道トンネルとその特徴(2)(3), 日本鉄道施設協会誌, 1991. 1, 2
- 小林 實, 十勝の軌道 その5 (河川工事とその他に使用された軌道), トカプチ 十勝郷土研究, 5
- 真鍋裕司, 電車列車の発達過程, 鉄道史学, 9
- 西野保行, わが国における鉄道用レールの変遷, 産業考古学, 62
- 青木栄一, 鉄道交通史 (第4部交通史学の展開とその系譜, 第1章), 交通学説史研究会編『交通学説史の研究 (そのIV)', 運輸経済研究センター
- 青木栄一, 村山祐司, 交通地理学の展開とその系譜 (第3部), 交通学説史研究会編『交通学説史研究 (そのIV)』, 運輸経済研究センター
- 青木栄一, 日本の幹線用蒸気機関車の発達—その評価と問題点—, 鉄道史学, 9
- 青木栄一, 日本の鉄道をめぐる風土, 市川健夫編『日本の風土と文化』, 古今書院
- 斉藤雅男, 電車特急「こだま」の計画と実現—鉄道を総合システムとしてとらえた最初のプロジェクトを回顧して—, 鉄道史学, 9
- 多田博一, 19世紀インドにおける鉄道の建設—イギリス人技師のみた技術的特徴を中心に—, 鉄道史学, 9
- 多田博一, 鉄道の普及とインド民族意識, 鉄道史学, 10
- 大島登志彦, 新線(粘着方式)建設とその変遷, 上州路, 205
- 椎名公一・松本嘉司・三浦 重・内田雅夫・坂本謙二・宮本征夫・吉川恵也・小野田滋, 鉄道工学 (第1部交通に関する工学の展開とその系譜, 第2章), 交通学説史研究会編『交通学説史の研究 (そのIV)', 運輸経済研究センター
- 堤 一郎, 民営鉄道の工場に見る工作機械の駆動システム, 産業考古学, 62
- 堤 一郎・吉田幸夫, 茨城交通・湊線 那珂港機関区の英国製車輪旋盤について, 研究紀要(茨城職業訓練短期大学校), 5
- 堤 一郎・大島登志彦, 三春馬車鉄道と磐梯急行電鉄の保存車両, 産業考古学, 59
- 堤 一郎・辻 恒平, 水戸市内に残る茨城交通水浜線の産業遺産, 産業考古学, 62
- 田中美佐, 戦後における交通民主化政策に関する序論的考察—GHQ文書を中心として—, 明治大学大学院紀要, 28

- 東 皓傳, シティ電車にみる地域性, 『現代都市学の展開』(日本都市学会年報)
- 藤原康雄・奥野博久・松岡義幸・萱原瑞穂, JR大阪環状線のルーツをさぐる—環運転30周年—, 土木史研究, 11
- 白井 昭, 蒸気機関車用投炭練習機を復元, 産業考古学, 62
- 白井 昭, 保存鉄道への道—大井川鉄道の事例—, 産業考古学, 62
- 白土貞夫, 成田の電燈電力史—成宗電気軌道の電力供給事業を中心として—, 成田市史研究, 15
- 木田清人, 五城目軌道の成立と地域社会, 鉄道史学, 10
- 有賀宗吉, 略年表—総評から連合へ—, 汎交通, 91(8)

1992年

- SMITH, Ian, The History of the Japanese National Railway 1949-1987, A Balanced View, 鉄道史学, 11
- 伊東 孝, 「可動橋一覽」の作成と近代可動橋の現在の評価, 土木史研究, 12
- 為国孝敏・榛沢芳雄, 鉄道が都市の発展に与えた影響に関する史的研究—渋谷を中心として—, 土木史研究, 12
- 宇田 正, 「汽車場」への道標, 交通科学博物館だより, 27
- 宇田 正, 近代大阪市民交通の軌跡—巡航船から市電まで—, 大阪春秋, 69
- 遠藤恒吉, 売店・赤帽・靴みがき (ああ上野駅), 白い国の詩, 432
- 塩崎文雄, 上野駅と近代文学 (ああ上野駅), 白い国の詩, 427
- 奥須磨子, 駅をとりまく街 (ああ上野駅), 白い国の詩, 431
- 吉川文夫, 鉄道発祥の地・旧新橋駅跡, 産業考古学, 66
- 久保田博, 鉄道事故の解析と対策, 鉄道史学, 11
- 宮入源太郎, 荒廃進む旧上田丸子電鉄真田駅舎, 産業考古学, 64
- 宮脇俊三, 上野駅からの旅 (ああ上野駅), 白い国の詩, 436
- 月岡康一・小西純一・和田林道宜, 澁川橋梁の設計について—現代トラス橋との比較の試み—, 土木史研究, 12
- 原田勝正, 上野駅の誕生 (ああ上野駅), 白い国の詩, 425
- 古川愛哲, 上野周辺右往左往 (ああ上野駅), 白い国の詩, 434
- 佐藤豊彦, 上野駅構内施設 (ああ上野駅), 白い国の詩, 435
- 坂井一実, 佐賀県における馬車鉄道事業—佐賀馬車鉄道を中心に—, 交通史研究, 28
- 三木理史, 安濃鉄道の事業展開と村落地域社会, 三重県史研究, 8
- 三木理史, 三重県における戦時交通統制と地域交通体系の再編成, 地理学評論, 65(7)
- 山岡茂樹, 三菱ZC707—地上に降りた航空エンジン—, 鉄道史学, 11
- 小関和弘, こころ模様の駅 (ああ上野駅), 白い国の詩, 433
- 小山 徹, シドニーにおける環状地下鉄の成立過程—メルボルンの場合とのシステムの比較—, 鉄道史学, 11
- 小西純一・西野保行・瀧上龍雄, わが国におけるドイツ製鉄道橋梁—歴史と現状—, 土木史研究, 12
- 小川 功, 明治20年代の社債発行と保険会社引受—九州の鉄道・紡績を中心として—, 経済学研究 (九州大学経済学会), 56(5・6)
- 小川 功, 明治期の私設鉄道金融と鉄道資本家—参宮鉄道における渋沢・今村・井上・片岡の役割をめぐって—, 追手門経済論集, X X VII (1)
- 小風秀雅, 交通資本の形成, 高村直助: 『企業勃興』, ミネルヴァ書房
- 小野田滋, 北九州地方の鉄道橋梁に見られるレンガ・石積みの構造的特徴に関する研究, 土木史研究, 12

- 小野田滋・河村清治・木村哲雄・菊池保孝, 「ねじりマンボ」を探そう—関西の鉄道土木史を訪ねて—, 日本鉄道施設協会誌, 1992. 1
- 青木栄一, 鉄道文化財と産業考古学, 産業考古学, 63
- 青木栄一, みちのくへの列車 (ああ上野駅), 白い国の詩, 426
- 青木茂夫, 市電から地下鉄へ, 大阪春秋, 69
- 青木雄千代, 駅長ものがたり (ああ上野駅), 白い国の詩, 429
- 千葉正史, 清朝期中国における鉄道政策の展開—1891年鉄道国有化問題の再考と辛亥革命—, 鉄道史学, 11
- 前田六二, 消えた鉄路尾道鉄道, 私家版
- 村山祐司, Japanese Commodity Flow by Railways in the High Economic Growth Period, Annual Report of the Institute of Geosciences, The Univ. of Tsukuba, 18
- 大沢 覚, 明治期皇室財政統計 (日本統計研究所統計集1), 法政大学日本統計研究所
- 大庭正八, 堀之内軌道のオット機関車, 私家版
- 中岡良司・五十嵐日出夫・森 弘, 北海道における時間距離図の歴史的変遷に関する研究, 土木史研究, 12
- 中村尚史, 第一次企業勃興期における幹線鉄道会社の設立と地方官—九州鉄道会社設立運動の展開過程—
- 堤 一郎, 群馬県・上毛電気鉄道に残る工作機械の駆動システムについて—, 鉄道史学, 11
- 堤 一郎・大島登志彦, 上武鉄道の産業遺産, 研究紀要 (茨城職業訓練短期大学校), 6
- 田中美佐, 占領期鉄道政策に関する研究—1945年~1948年における運輸省機構改革を中心にして—, 明治大学大学院紀要, 29
- 渡邊恵一, 日露戦後における北海道拓殖方針—運輸・交通部門を中心として—, 立教経済学研究, 45(3)
- 土谷敏治, ドイツ連邦共和国における鉄道交通システムとその変化, 駒澤地理, 28
- 唐川次夫, 国鉄 (関西) 電化のあゆみ, 大阪春秋, 69
- 藤井信夫, 大阪の省線電車, 大阪春秋, 69
- 藤田 実, 関西私鉄王国私観, 大阪春秋, 69
- 内山 隆, 都市近郊私鉄多角化のロジック—経営学的考察—, 鉄道史学, 11
- 武知京三, 大阪市電争議後の交通労働運動—組合再建運動と「自助会」の確立—, 追手門経済論集 (追手門大学経済学会), 27(1)
- 武田 泉・内野秀樹・高柳長直, 鉄道新駅開設と輸送改善—地方都市圏を中心として—, Mobility, 87
- 本橋成一, モノクロームの駅 (ああ上野駅), 白い国の詩, 430
- 野崎敏生, 還暦すぎたチンチン電車—阪堺電気軌道—, 大阪春秋, 69
- 老川慶喜, 京都鉄道会社の設立と京都財界, 追手門経済論集, X X VII(1)
- 老川慶喜, 震災・戦災と上野駅 (ああ上野駅), 白い国の詩, 428
- 老川慶喜, 鉄道の開通と地域交通網の再編, 地方史研究, 238

1993年

- 渥美半島研究会, 渥美線—まぼろしの「豊橋伊良湖岬間鉄道」をめぐって—, 渥美半島研究会為国孝敏・榛沢芳雄, 玉川電気鉄道の変遷と東京西南部地域の変容との関連についての—考察, 土木史研究, 13
- 井上 浩, 高かった昭和初期の電車賃, 多摩のあゆみ, 73
- 宇田 正, 「中馬」から「鉄馬」へ—三信鉄道創業事情—, 同人誌・雲, 55
- 宇田 正, 歌僧辨玉の長歌「蒸汽車」, 同人誌・雲, 56
- 益井茂夫, 西武鉄道拝島線前史, 多摩のあゆみ, 70
- 益井茂夫, 公文書から見た「川越鉄道」, 多摩のあゆみ, 73
- 益井茂夫, 公文書から見た「川越電気鉄道」, 多摩のあゆみ, 73

- 横平 弘, 北見地方における初期の鉄道路線の形成過程, 土木史研究, 13
- 吉川文夫, スイス・ルツェルン交通博物館の車輪旋盤, 産業考古学, 70
- 原田勝正, 鉄道史研究における政治史的視点, 鉄道史学, 12
- 高崎財務事務所地域振興室, 碓氷峠に残る鉄道文化財—峠路に残る鉄道文化を訪ねて—, 高崎財務事務所地域振興室
- 今 尚之・五十嵐日出夫, 表定速度変遷と鉄道システム技術の段階的発展に関する研究, 土木史研究, 13
- 佐藤吉彦, 鉄道復帰へのクリティカルパス, 鉄道史学, 12
- 佐藤美知男, 五日市鉄道廃線跡を訪ねて, 多摩のあゆみ, 70
- 在間宣久, 中国鉄道国有化問題と岡山県下の状況, 鉄道史学, 12
- 三村 章, 多摩川砂利木材鉄道, 多摩のあゆみ, 70
- 三木理史, 軽便鉄道事業の地域的展開—明治末～大正期を中心に—, 奈良大学紀要, 21
- 山下智志・ダルワッテ=シヒル・安藤朝夫, 明治以降の交通網の発達と一極集中に関する研究, 土木史研究, 13
- 山口幸男, 鉄道建設に関する地理的シミュレーション教材の開発—「北海道鉄道建設ゲーム」—, 科学研究費報告書
- 小川 功, 戦前の不良資産買取会社の教訓, 日経リアルエステート東京, 1993. 2
- 小川 功, 戦前期の生保不動産投資と土地会社等への関与—事例研究を中心として—, 経済学研究 (九州大学経済学会), 58(3)
- 小川 功, 明治30年代における保険会社の金融活動—鉄道企業への投融資・経営参加を中心として—, 金融経済研究, 4
- 小川 功, 明治末期の生保による非公募地方債の総額引受—小樽, 福岡の事例を中心として—, 彦根論叢 (滋賀大学), 285・286
- 小野田滋, 武蔵野鉄道による東京都心接続計画とその挫折, 土木計画学研究・講演集, 16(1)
- 小野田滋・菊池保孝・須貝清行・古寺貞夫, 近畿圏の鉄道トンネルにおける坑門の意匠設計とその特徴, 土木史研究, 13
- 小野田滋・萩原幸一・竹内定行・丸山 孝, わが国における鉄道トンネルの沿革と現状 (第4報)—信越本線をめぐって—, 土木史研究, 13
- 小林 實, 十勝の軌道 その6—足寄森林鉄道—, トカプチ 十勝郷土研究, 7
- 小林照夫, エディンバラ・ノーザン鉄道とエディンバラ・パース・ダンディー鉄道—両鉄道の歴史的意義—, 鉄道史学, 12
- 瀬古龍雄, 鉄道忌避伝説と地域社会—新潟県における実態, 鉄道史学, 12
- 成迫政則, 資材輸送専用鉄道—小河内ダム工事運搬線—, 多摩のあゆみ, 70
- 西野保行・小西純一・中川浩一, 明治期におけるわが国の鉄道用プレートガーダーについて—概説—, 土木史研究, 13
- 青木栄一, 戦間期における鉄道政策論—自動車交通の評価と国有鉄道のあり方を中心として—, 鉄道史学, 12
- 齊藤貞夫, 鉄道開通と新河岸川舟運の衰退, 多摩のあゆみ, 73
- 増田廣實, 野蒜築港と日本鉄道, 鉄道史学, 12
- 太田浩道, 京都近代化を写す写真たち, 古地図研究, 24(6)
- 大庭正八, (資料) 静岡鉄道秋葉線, 私家版 (袋井市教育委員会遊遊サロン)
- 大島登志彦, 群馬の交通問題, 群馬の地域開発 (群馬県地域開発推進協議会), 23
- 大島登志彦, 上毛電気鉄道の地域社会との関連とその変遷, 鉄道史学, 12
- 中川浩一, 輸入鉄道トラス橋の系譜, 産業考古学会鉾山金属分科会・黒岩俊郎編『技術の文化史』(産業考古学シリーズ2), アグネ
- 中川浩一・吉田真理子, 佐野鉄道の成立と展開, 茨城大学教育学部紀要 (人文・社会科学, 芸術), 42

- 中村尚史，創立期九州鉄道会社の資金調達と地域社会—熊本県地域の場合—，鉄道史学，12
- 中村尚史，産業革命期における近代的交通機関の発達と米穀輸送—九州鉄道の場合—，交通史研究，31
- 中田 互，中武馬車鉄道路線跡を訪ねて，多摩のあゆみ，70
- 仲 清，東村山駅で見た川越線の車両たち，多摩のあゆみ，73
- 長船友則，岩井軌道の足跡，中国地方鉄道史散策，2
- 藤原恵洋，国立駅のレール柱，多摩のあゆみ，70
- 白土貞夫，鉄道建設および改良問題と政党・政治家の動向—千葉県香取郡の場合—，鉄道史学，12
- 麻生孝行，佐賀關鉄道の成立と地方鉄道事業への転換，大分地理，7
- 門上光夫，交通統制史論の展開—15年戦争陸運統制に即して—，新しい歴史学のために（京都市科歴史部会），211
- 柳井 潔，100歳を迎える川越鉄道，多摩のあゆみ，73
- 1994年 ■
- やまだあつし，植民地時代台湾総督府の鉄道経路選定について，鉄道史学，13
- 伊藤 正，社史余話，名古屋鉄道
- 為国孝敏，近代における東京地域の郊外鉄道の発展形式に関する実証的研究，私家版（学位論文）
- 為国孝敏・榛沢芳雄，渋谷，池袋からの郊外鉄道とその沿線地域の変容に関する一考察，土木史研究，14
- 宇田 正，わが国の鉄道史と「観光」の理念—巡礼・遊覧・観光—，鉄道史学，13
- 宇田 正，鉄道経営の成立・展開と「巡礼」文化，山本弘文編『近代交通成立史の研究』，法政大学出版局
- 益井茂夫，公文書から見た奥多摩電気鉄道，多摩のあゆみ，76
- 横浜開港資料館，資料集・横浜鉄道1908～1917，横浜開港資料普及協会
- 横平 弘，JR釧網本線の路線計画と形態，土木史研究，14
- 加藤久爾夫，名古屋市電における2軸電車の発達，シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第13回—鉄道遺産の現状と保存問題—講演報告資料集—，中部産業遺産研究会・産業考古学会
- 吉井 信・福田 敦，交通体系からみたバンコクの都市構造の変遷に関する研究，土木史研究，14
- 玉村和彦，希薄化する列車の旅，鉄道史学，13
- 原田勝正，新幹線私設計画資料，和光経済，26(3)
- 原田勝正，神奈川県川崎における鉄道網の形成，山本弘文編『近代交通成立史の研究』，法政大学出版局
- 原田勝正，日本の中国東北支配における鉄道の軍事的利用とその機能，鉄道史学，13
- 恒川鋭夫，名鉄史料館開設の目的と経過，シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第13回—鉄道遺産の現状と保存問題—講演報告資料集—，中部産業遺産研究会・産業考古学会
- 高 成鳳，植民地期朝鮮の市内電車，鉄道史学，14
- 高橋伊佐夫，土砂運搬用ナベトロと機関車，産業考古学，72
- 今 尚之，鉄道システム発展の重層段階性に関する研究，鉄道史学，14
- 佐藤吉彦，中国鉄道の発展と新鉄道システムの開発，鉄道史学，14
- 佐藤美知男，北海道の鉄道におけるアメリカ技術導入の経緯について—村垣淡路守と函館英学の影響—，鉄道史学，14
- 三木理史，私鉄路線と幹線鉄道の結節形態の変化からみたわが国における近代交通体系の形成，地理学評論，67(10)
- 三木理史，南海観光圏の形成—開発と輸送からのアプローチ—，鉄道史学，13
- 小栗彰夫，東海道線初代揖斐川橋梁，シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第13回—鉄道遺

- 産の現状と保存問題—講演報告資料集—, 中部産業遺産研究会・産業考古学会
- 小山 徹, バルセロナにおける地下鉄システムの成立過程—マドリードの地下鉄システムとの比較, 鉄道史学, 13
- 小西純一・田島二郎, 碓氷峠旧線路に残る鉄道構造物の技術的特徴と意義, 土木史研究, 14
- 小川 功, 我国における観光・遊園施設の発達と私鉄多角経営の端緒—私鉄資本による遊園地創設を中心に—, 鉄道史学, 13
- 小風秀雅, 明治前期における鉄道建設構想の展開—井上勝をめぐって—, 山本弘文編『近代交通成立史の研究』, 法政大学出版局
- 小林清明, 天草に残るガソリン機関車, 産業考古学, 74
- 松永和生, ドイツ賠償問題とライヒスバーン, 鉄道史学, 14
- 松下孝昭, 鉄道敷設法の成立と矛盾, 日本史研究, 377
- 新藤東洋男, 九州鉄道会社の創立事情—その史料についてのことと若干の考察—, 交通史研究, 32
- 真鍋裕司, わが国におけるWN駆動の発達過程, 鉄道史学, 14
- 西 淳二, 交通路の変遷について(その2)—ケルンバットから河岸段丘, そしてトンネルへ—, 土木史研究, 14
- 西村はつ, 中京経済圏の形成過程, 山本弘文編『近代交通成立史の研究』, 法政大学出版局
- 青梅市郷土博物館, 開館20周年記念特別展—青梅鉄道100年展—, 多摩のあゆみ, 76
- 青木 亮, 宅地化の進展と鉄道投資—能勢電鉄沿線における開発利益の還元, 鉄道史学, 14
- 青木栄一, 明治初期の鉄道における客車の発達, 山本弘文編:『近代交通史成立史の研究』(法政大学出版局)
- 青木栄一, 青梅線の成立と展開—地域変容とともに歩んだ100年, 多摩のあゆみ, 76
- 石井常雄, 東京乗合馬車会社の設立と展開, 明大商学論叢, 77(2)
- 千葉正史, 清朝皇室の鉄道使用について, 鉄道史学, 13
- 増田廣實, 明治前期における全国的運輸機構の再編—内航海運から鉄道へ—, 山本弘文編『近代交通成立史の研究』, 法政大学出版局
- 大庭正八, 明治中期の静岡県における東海道鉄道建設とそれに対する地域社会の対応, 地理学評論, 67(12)
- 大島登志彦, 碓氷峠越え鉄道の変遷と鉄道文化財, 産業考古学, 74
- 谷内正往, 私鉄とターミナル・デパート(百貨店), 交通史研究, 32
- 丹治 明・鈴木 昭, 2100形—2109号蒸気機関車の動態保存・展示(第1報), 産業考古学, 72
- 中岡良司, 建設期間年表の構築と応用—北海道の鉄道の発展過程—, 土木史研究, 14
- 中川浩一, 国有鉄道の外国人観光客誘致, 鉄道史学, 14
- 中村尚史, 企業勃興期における幹線鉄道会社の設立と地域社会—九州鉄道会社の設立と佐賀県—, 社会経済史学, 59(5)
- 中田 互, 中武馬車鉄道のあゆみ, 多摩のあゆみ, 76
- 中日新聞, 発車オーライ1世紀—地域と名鉄物語—, 中日新聞連載
- 堤 一郎, 鉄道遺産の現状と保存問題—産業考古学の視点から—, シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第13回—鉄道遺産の現状と保存問題—講演報告資料集—, 中部産業遺産研究会・産業考古学会
- 堤 一郎, 軀鉄道の産業遺産, 産業考古学, 72
- 堤 一郎・林 邦夫, 明治期の鉄道車両技術に関わる工作機械の調査研究(第1報)—現存する1900年代初期の車輪旋盤—, 日本機械学会第71期総会講演会論文集
- 渡邊恵一, 青梅鉄道の成立とその性格, 多摩のあゆみ, 76
- 白井 昭, 大井川鉄道における鉄道遺産保存の経過, シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第13回—鉄道遺産の現状と保存問題—講演報

- 告資料集一，中部産業遺産研究会・産業考古学会
- 箱根町立郷土資料館，箱根の鉄道—馬車鉄道から山岳鉄道開通まで—，箱根町立郷土資料館
- 武知京三，伊勢鉄道（伊勢電気鉄道）の創設事情，交通史研究，32
- 武知京三，四日市港をめぐる海運の動向，山本弘文編『近代交通成立史の研究』，法政大学出版局
- 門上光夫，15年戦争期の私鉄統制—都市大手私鉄を中心に—，鉄道史学，13
- 野村 亨，バンコクにおける市街鉄道の発達，鉄道史学，14
- 老川慶喜，千住馬車鉄道の設立と経営，山本弘文編『近代交通成立史の研究』，法政大学出版局
- 1995年 ■
- Michel Cotte・小林一郎，1815年から35年間のマルク・スガンにおける技術革新と技術移転について，土木史研究，15
- 為国孝敏・榛沢芳雄・佐藤文彦，戦前における京成電気軌道の経営施策と地域との関わりについての一考察，土木史研究，15
- 井口悦男，東京市電（都電）運転系統図の推移とその特色，地図，33(3)
- 井藤鉄男，幻の鉄道が見えてきた—中島飛行機武蔵製作所の簡易鉄道—，多摩のあゆみ，79
- 羽村市郷土博物館，青梅鉄道関係史料（羽村市史料集2），羽村市教育委員会
- 益井茂夫，北多摩北部の鉄道網の発達，多摩の交通と都市形成史研究会編：『鉄道とまちづくりのあゆみⅡ』，東京都市町村自治調査会
- 横平 弘，JR釧網本線の路線計画と施工，土木史研究，15
- 吉川文夫，信貴生駒電鉄鋼索線とその産業遺跡，産業考古学，77
- 広瀬盛之，多摩における地域計画の変遷，多摩の交通と都市形成史研究会編：『鉄道とまちづくりのあゆみⅡ』，東京都市町村自治調査会
- 荒井文治，スイスのLuzern交通博（V），横浜国大生産工学科同窓会会報，6
- 三田鶴吉，立川の発展と鉄道，多摩の交通と都市形成史研究会編：『鉄道とまちづくりのあゆみⅡ』，東京都市町村自治調査会
- 三木理史，近代瀬戸内海地域における地域交通体系の変容—海陸連絡機能を中心として—，歴史地理学，37(4)
- 三木理史，昭和初期における局地鉄道事業の展開と地域交通体系の再編成—両備鉄道の事例—，社会経済史学，60(6)
- 三木理史，瀬戸内海沿岸地域における海陸連絡輸送の展開—四国の場合を中心に—，奈良大学紀要，23
- 山岡茂樹，鉄道車両産業，産業学会編：『戦後日本産業史』
- 山崎祐次・榛沢芳雄・為国孝敏，戦前の私鉄における兼業の役割に関する実証的研究—東京地域を対象として—，土木史研究，15
- 山鹿誠次，多摩の地域的特徴と交通，多摩の交通と都市形成史研究会編：『鉄道とまちづくりのあゆみⅡ』，東京都市町村自治調査会
- 小西純一，明治時代における鉄道橋梁下部工序説，土木史研究，15
- 小川 功，明治・大正期の困窮私鉄再建と生保金融—豆相鉄道の資産継承会社の性格を中心に—，彦根論叢（滋賀大学），298
- 小川 功，明治末期の民営社会資本の挫折と再建—高野鉄道のデフォルトと財政整理を中心に—，滋賀大学経済学部研究年報，2
- 小野田滋・坂井幸市・鶴 英樹，わが国における鉄道トンネルの沿革と現状（第5報）：旧・九州鉄道をめぐって—，土木史研究，15
- 松下孝昭，鉄道敷設法の成立と井上勝，朝尾直弘教授退官記念会編：『日本国家の史的特質 近世・近代』，思文閣出版
- 上田幸雄，吉祥寺駅周辺再開発の経過，多摩の交通と都市形成史研究会編：『鉄道とまちづくりのあゆみⅡ』，東京都市町村自治調査会
- 西野保行・小西純一・中川浩一，わが国における

- 鉄道用ラチス桁の現況とその歴史的経緯，土木史研究，15
- 青木栄一，鉄道の発達と都市形成，多摩の交通と都市形成史研究会編：『鉄道とまちづくりのあゆみⅡ』，東京都市町村自治調査会
- 青木栄一，鉄道地図の思想とその展開，地図，33(3)
- 石井道郎，五日市鉄道の誕生，多摩の交通と都市形成史研究会編：『鉄道とまちづくりのあゆみⅡ』，東京都市町村自治調査会
- 赤坂義浩，大正期民営軽便鉄道の資金調達—京都府福知山北丹鉄道の事例—，経営史学，30(3)
- 川名 禎，幻の鉄道 東都鉄道株式会社における若干の考察，私家版
- 前田成東，多摩の南北交通と現状の課題—第三セクターによるモノレール建設を事例として—，中央大学社会科学研究所編『地域社会の構造と変容—多摩地域の総合研究—』，中央大学出版部
- 村野秀隆，府中の交通と都市形成，多摩の交通と都市形成史研究会編：『鉄道とまちづくりのあゆみⅡ』，東京都市町村自治調査会
- 大庭正八，静岡鉄道駿遠線，私家版
- 池田禎男，八王子都市計画の変遷，多摩の交通と都市形成史研究会編：『鉄道とまちづくりのあゆみⅡ』，東京都市町村自治調査会
- 中岡良司・今 尚之・佐藤馨一，相対時間距離からみた新幹線の整備効果に関する研究，土木史研究，15
- 中田 互，西武鉄道大宮線小史，埼玉地方史，33
- 中牧 崇，中国華東地域における陸上交通，地域研究（立正地理学会），36(1)
- 堤 一郎，水戸市内と大洗町内に残る茨城交通・水浜線の産業遺産，産業考古学，78
- 渡邊恵一，昭和戦前期の横浜における鉄道貨物流通構造—京浜工業地帯の形成をめぐって—，市史研究よこはま，8
- 渡邊恵一，青梅鉄道と石灰石輸送，多摩の交通と都市形成史研究会編：『鉄道とまちづくりのあゆみⅡ』，東京都市町村自治調査会
- 土井 勉・河内厚郎，鉄道沿線における郊外住宅地の開発と地域イメージの形成—阪急沿線の郊外住宅地開発と生活文化に着目して—，土木史研究，15
- 白井 昭，北河製品所と島田軌道，産業考古学，78
- 白土貞夫，挫折した香匣鉄道計画—現在も山田町に残る鉄道敷設—予定線，山田の郷土史，2
- 薄井 清，農地が都市へ—多摩丘陵の開発—，多摩の交通と都市形成史研究会編：『鉄道とまちづくりのあゆみⅡ』，東京都市町村自治調査会
- 半沢一宣，広島電鉄ピースバーン号の伝記“絵画電車”7年間の記録，私家版
- 飯島 章，（資料紹介）現存する日本鉄道第1区線荒川橋梁，埼玉地方史，33
- 武知京三，紀伊半島をめぐる鉄道史，地方史研究，256
- 武田 泉・後藤 忠，東北地方の鉄道運営と「効率化」の現実—地方開発に果たした歴史的展開と新型車両導入問題からの検討—，研究所報（秋田経済法科大学地域総合研究所），1
- 野田正穂，学園都市の形成と交通の発達，多摩の交通と都市形成史研究会編：『鉄道とまちづくりのあゆみⅡ』，東京都市町村自治調査会
- 野田正穂，旧西武鉄道の経営と地域社会，東村山市史研究，4
- 鈴木 忠，調布の都市開発と交通，多摩の交通と都市形成史研究会編：『鉄道とまちづくりのあゆみⅡ』，東京都市町村自治調査会
- 鈴木文彦，バス路線網の展開，多摩の交通と都市形成史研究会編：『鉄道とまちづくりのあゆみⅡ』，東京都市町村自治調査会
- 老川慶喜，明治20～30年代 八王子をめぐる鉄道敷設の動向，多摩の交通と都市形成史研究会編：『鉄道とまちづくりのあゆみⅡ』，東京都市町村自治調査会
- 實 清隆，日本における公共交通の現況と対策に関する経営論的視角からの考察，奈良大地理，1

1996年

Roland Paxton, Conservation of the 1811 Railway Viaduct at Laigh Milton, Scotland, 土木史研究, 16

為国孝敏・榛沢芳雄, 東武鉄道の成立過程と沿線地域との関連についての一考察, 土木史研究, 16

横平 弘, 旧国鉄予定線・釧美線の路線計画と課題, 土木史研究, 16

岡 雅行, 植民地の残照, アフリカの鉄道, 地理, 41(11)

岡本和彦, 日本国有鉄道における硬質普通入場券に関する研究(第1報), 産業考古学, 82

岡澤英夫, 1067ミリ軌間と龍ヶ崎鉄道, 竜ヶ崎市史研究, 9

加藤新一, 「東京ゲージ」をめぐる鉄道史, 地理, 41(11)

河野敬一, 大正・昭和戦前期における鉄道敷設申請却下について—国立公文書館「鉄道省文書」にみる地方鉄道建設の動向—, 北の丸—国立公文書館報, 28

吉川文夫, B6の由来, 工業技術博物館ニュース(日本工業大学), 21

近藤宏一, 大手私鉄企業グループの現状と今後の方向性—サービス・マネジメント論の視点をつまえて—, 立命館経営学(立命館大学経営学会), 35(3)

胡桃沢勘司, 超経済の鉄道—その歴史・文化的背景—, 近畿大学文芸学部論集「文学・芸術・文化」, 8(1)

今田 保, 整備新幹線におけるゲージ戦争, 地理, 41(11)

今野修平, 主軸交通切断による影響の地理学的考察, 地理学評論, 69(7)

三木理史, 近代日本の地域交通体系研究—研究方法と問題点をめぐって—, 人文地理, 48(1)

山田徹雄, 第2帝政期ドイツの領邦鉄道網と政策, 鶴見学園女子大学紀要, 29

小川 功, 明治期銀行融資のデフォルトと自己競争・証券化による不良債権回収—15銀行と太

田鉄道融資と水戸鉄道新設を中心として—, 彦根論叢(滋賀大学), 299

小野寺英輝, 鉱山寮釜石鉄道の橋梁について, 土木史研究, 16

森口誠之, 片町線100年史, 私家版

星 良助, 北海道炭礦鉄道の運転時刻(2), 小樽市博物館紀要, 9

青木栄一, 鉄道ゲージの歴史地理学, 地理, 41(11)

斉藤和美, 汐留遺跡の現状報告, 産業考古学, 80

石井常雄, 前橋馬車鉄道会社の経営史研究, 明大商学論叢(明治大学商学研究所), 78(4)

石川浩稔, 自由の国アメリカの鉄道と軌道, 地理, 41(11)

増井健一, 文久2年訪欧使節団の鉄道旅程を確かめる, 東京交通短大研究紀要, 6

朝倉希一, 客車と電車に対する思い出, 汎交通, 76(11)

田島二郎・小西純一・小野田滋・金谷宏二, 碓氷峠旧線鉄道構造物の現況について, 土木史研究, 16

渡辺明子・伊藤 学・窪田陽一, 古レールを使用した忍川橋梁群に関する考察, 土木史研究, 16

渡邊恵一, 企業勃興期における地方小鉄道の経営と輸送—安蘇馬車鉄道を事例として—, 経営史学, 31(3)

島村 誠・鈴木博人, 鉄道林: 成立経緯と施業の変遷, 土木史研究, 16

白井 昭, 愛知県幡豆地方の石材軌道について, 産業考古学, 82

飛田紀男・伴野泰博, 鳳来町誌・田口鉄道史編, 鳳来町教育委員会

武田 泉, 過疎地域(僻地)における地域課題としての地域振興策—幌加内町における鉄道廃止問題と大学との交流を手掛かりに—, 僻地教育研究, 50

武田 泉, 保存鉄道の現状とその社会教育的意義—今後の活動を推進するための予察的研究—, 年報いわみざわ(北海道教育大学岩見澤校), 17

和久田康雄, 日本のゲージとその変遷, 地理, 41
(11)

1997年

Michel Cotte・小林一郎, The Locomotive of the Saint-Etienne & Lyon Railway: Design, Construction and First Uses (1825-1835), 土木史研究, 17

ウェルズ・恵子, アメリカの鉄道と大衆の歌—鉄道が運んだ恋と葛藤と別れのドラマ—, 鉄道史学, 15

やまだあつし, 1920年代後半における台北の市内交通—市営交通事業の設立問題を中心に—, 鉄道史学, 15

為国孝敏・松本 崇・中川三朗, 戦前における路面軌道から地方鉄道への転換と東京の拡大への影響に関する一考察, 土木史研究, 17

井田泰人, 山陽鉄道会社における中上川彦次郎の経営姿勢と社内改革, 交通史研究, 39

永田 宏, 浅見與一右衛門翁と「岩村電車」(付) 幻の東美電気鉄道, 岐阜県恵那郡岩村町企画商工観光課

益井茂夫, 京王電車未成線, 多摩のあゆみ, 85

益井茂夫, 武蔵中央電気鉄道, 多摩のあゆみ, 86

益井茂夫, 村山・山口貯水池をめぐる鉄道, 多摩のあゆみ, 87

益井茂夫, 国鉄下河原線, 多摩のあゆみ, 88

益子輝男・為国孝敏・中川三朗, 戦後における東武鉄道と日光・鬼怒川地域の観光との関連についての史的考察, 土木史研究, 17

横平 弘・小池則満, 旧国鉄路線・網走線と名寄線の施工順位の交替比較, 土木史研究, 17

岡 雅行, 地図と時刻表に見る鉄道の実態, 地理, 42(11)

岡田久雄, 日本における保存鉄道—保存の意義とボランティアの役割を考える—, 朝日総研リポート, 128

加藤新一, 「東京コネクション」の鉄道史, 地理, 42(11)

加藤要一, 鉄道敷設における地元の「認識」と「実

際」—明治期山梨県における馬車鉄道を事例に一, 社会経済史学, 63(3)

河野敬一, 運輸省所蔵鉄道関係永久保存公文書目録, 国立公文書館

河野哲也・今 尚之・佐藤馨一, 幌内鉄道プラットフォームと旧大谷川橋梁に関する研究, 土木史研究, 17

梶本元信, 19世紀前半南ウェールズの運河と鉄道—モンマスシャー運河会社の場合—, 帝塚山大学経済学, 6

梶本元信, 鉄道時代前夜東グラモーガン地方の交通発展—運河とトラムロードの時代—, 帝塚山学術論集, 4

吉田昌夫, タンザン鉄道の建設と運営—政治路線と経済計算—, 鉄道史学, 15

高橋 渉, 根室拓殖鉄道—最東端の鉄道を走った車両たちの記録—, 私家版

高村直助, 鉄道開通と炭鉱開発—常磐の場合—, 高村直助:『明治の産業発展と社会資本』, ミネルヴァ書房

今田 保, 新幹線の延伸は在来線の分断?, 地理, 42(11)

三木理史, 近代の地方都市における港湾修築事業と鉄道計画—三重県四日市市を事例として—, ジオグラフィカ・センリガオカ, 3

山田俊明, つながらない鉄道をつなぐ, 地理, 42(11)

渋川市教育委員会, 渋川のチンチン電車の歴史—東武鉄道伊香保軌道線調査報告書—, 澁川市教育委員会

小山 徹, 北京地下鉄道の環状線形成過程に関する一考察, 鉄道史学, 15

小西 純一・馬場 俊介, Reinforced-Concrete through Arch Bridges in Japan, Innovation in Civil and Structural Engineering, CIVIL-COMP Press

小川 功, 恐慌期の企業・金融破綻と投機的経営者—朝日生命を支配・搾取した山十製糸の破綻を中心に—, 滋賀大学経済学部研究年報, 4

- 小池 滋，鉄道観光文化の歴史—その国際的背景—イギリスの場合—，鉄道史学，15
- 小風秀雅，鉄道敷設の進展と物流—本州横断鉄道ルートと敦賀港—，高村直助：『明治の産業発展と社会資本』，ミネルヴァ書房
- 小野田滋，鉄道技術者列伝 その1 鉄道技術の源流 井上勝，RRR，97(1)
- 小野田滋，鉄道技術者列伝 その2 鉄道技術の自立長谷川謹介，RRR，97(2)
- 小野田滋，鉄道技術者列伝 その3 電気鉄道の父 藤岡市助，RRR，97(3)
- 小野田滋，鉄道技術者列伝 その4 新技術のさきがけ 那波光雄，RRR，97(4)
- 小野田滋，鉄道技術者列伝 その5 車両技術の確立源流 島安次郎，RRR，97(5)
- 小野田滋，鉄道技術者列伝 その6 鉄筋コンクリートの先覚 阿部美樹志，RRR，97(6)
- 小野田滋，鉄道技術者列伝 その7 鉄道車両国産化とともに 朝倉希一，RRR，97(7)
- 小野田滋，鉄道技術者列伝 その8 未来への架け橋 田中豊，RRR，97(8)
- 小野田滋，鉄道技術者列伝 その9 鉄道建築のモダニスト 伊藤滋，RRR，97(9)
- 小野田滋，鉄道技術者列伝 その10 境界分野の開拓者 渡邊貫，RRR，97(10)
- 小野田滋，鉄道技術者列伝 その11 スピードへの執念 山本利三郎，RRR，97(11)
- 小野田滋，鉄道技術者列伝 最終回 鉄道電化の推進 関四郎，RRR，97(12)
- 庄谷邦行・種田 明・並河宏彦，九州地方における産業遺産を訪ねて—世界産業遺産候補の予備調査(2)—，総合研究所紀要（桃山学院大学），22(3)
- 松永和生，第一次世界大戦後の東プロイセンの鉄道事情，鉄道史学，15
- 上山和雄，蚕糸業の発達と地方鉄道—長野県東信地方の場合—，高村直助：『明治の産業発展と社会資本』，ミネルヴァ書房
- 上山和雄，信越線と小海線，國學院大学日本文化研究所報，34(3)
- 青木栄一，交通地理学を考える(1)(2)(3)，地理，42(10)(11)(12)
- 石川浩稔，サンフランシスコを目指した鉄道とフェリー，地理，42(11)
- 草 卓人，立山軽便鉄道の成立と性格—明治末期，大正初期における地域鉄道研究の一事例—，近代史研究（富山近代史研究会），20
- 大島登志彦，上毛電気鉄道の水銀整流器，産業考古学，84
- 大島登志彦・堤 一郎，松尾鉱業鉄道の概要とその産業遺産，地域文化研究（八戸高専），6
- 中川 洋，鉄道院における広軌改築計画の終局—大正6年 横浜実験を中心として—，法政史論，24
- 中川浩一，「1号機関車」重文指定について，産業考古学，85
- 中村尚史，炭鉱業の発達と鉄道企業—筑豊の場合—，高村直助：『明治の産業発展と社会資本』，ミネルヴァ書房
- 中林真幸，製糸業の発達と幹線鉄道—長野県諏訪の場合—，高村直助：『明治の産業発展と社会資本』，ミネルヴァ書房
- 長谷川達也，私鉄系不動産企業による住宅地開発—南海電気鉄道を例に—，人文地理，49(5)
- 田中邦博・長弘勇次，北部九州における筑豊興業鉄道に関する史的研究，土木史研究，17
- 渡邊恵一，南武鉄道の成立と浅野セメント，横浜近代史研究会・横浜開港資料館編：『横浜の近代—都市の形成と展開—』，日本経済評論社
- 湯沢 威，ブラッドショー鉄道地図の背景，本の友社
- 藤井郁夫，日本の長大トラス橋，土木史研究，17
- 藤井三樹夫，河川舟運の衰退と鉄道網形成との関係に関する一考察，土木史研究，17
- 内藤隆夫，石油業の発達と輸送網—越後の場合—，高村直助：『明治の産業発展と社会資本』，ミネルヴァ書房
- 二宮 正，History of so-called Rock Tunneling and Long-Distance Forepiling，土木史研

- 究, 17
- 白井 昭, モハ1形省線電車, 産業考古学, 86
- 白井 昭, 東海道線の大井川戦時迂回路, 産業考古学, 83
- 白井 昭・橋本英樹, 大井川鉄道に残る昔ながらの熱処理炉, 産業考古学, 86
- 白土貞夫, 鉄道のために走った男 安井理民の活動と東金線, ときめき (東金市教育委員会), 17
- 飯島正資, 東京鉄道, 東京市電気局の電気事業—本邦最大の25Hz送配電網の成立とその終焉, 鉄道史学, 15
- 品田光春, 新潟県刈羽郡における油田開発に伴う鉄道建設と柏崎の盛衰について, 地理誌叢 (日本大学地理学会), 39(1)
- 武田 泉, サハリンをめぐって垣間見た日本の残影—鉄道ジャーナル「サハリン鉄道ツアー」から—, 北海道ウオーターフロント研究, 8
- 福田行高, 地図上の鉄道ネットワークとその実態, 地理, 42(11)
- 北川清治, 我国交通機関の発達を追って, 近代史研究 (富山近代史研究会), 20
- 野田正穂, 郊外住宅地の開発と私鉄の役割, 鉄道史学, 15
- 和久田康雄, 線路は続くか どこまでも, 地理, 42(11)
- 1998年 ■
- Michel Cotte・小林一郎, Economic Context and Early Management of the Saint-Etienne & Lyon Railway Company (1825-1835), 土木史研究, 18
- アンドレアス・クンツ (沢井 実訳), 「鉄道経営と組織構造: 経済全般に対するその影響と波及, 1840—1945年」, 鉄道史学, 16
- 栗野 宏, 奥羽本線板谷峠越え鉄道遺産群の現況, 産業考古学, 90
- 益井茂夫, あの電車はいま何処に, 多摩のあゆみ, 89
- 益井茂夫, 西武急行鉄道・立新電気鉄道と西武鉄道立川線, 多摩のあゆみ, 90
- 益井茂夫, 豊島懸垂電車, 多摩のあゆみ, 92
- 横平 弘, 旧鉄道路線・湧別線の路線計画と比較線の建設効果, 土木史研究, 18
- 加藤新一, 東京における都市鉄道の形成と「都市型」山岳トンネル, 地理, 43(10)
- 加藤要一, 青木栄一氏のコメントに対する回答, 社会経済史学, 64(2)
- 河野敬一, 昭和戦前期までの鉄道関係公文書について—運輸省所蔵文書を中心として—, 北の丸—国立公文書館報, 30
- 吉田明雄, 幻の国鉄大井工機部疎開工場—下河原緑道で想うこと—, 多摩のあゆみ, 91
- 原田勝正, 新幹線私設計画資料—「日本電気鉄道」と「日本鉄道」—, 鉄道史学, 16
- 原田勝正, 鉄道史研究の課題, 技術と文明, 11(1)
- 原田勝正, 日本における基盤成立・展開期の鉄道, 和光経済研究叢書8, 和光大学社会経済研究所
- 黒川静夫, 末広橋梁—現役の鉄道可動橋—, 産業考古学, 90
- 今城光英, 比較鉄道改革史への視角, 鉄道史学, 16
- 今田 保, 新幹線と長大トンネル, 地理, 43(10)
- 佐藤信之, ヨーロッパにおけるLRT文化の再生 (前, 後), 運輸と経済, 58(9(10))
- 佐藤信之, 東南アジアにおける都市交通—最近30年の推移, 鉄道史学, 16
- 佐藤信之, 東武鉄道100年の歩み (前, 後), 運輸と経済, 58(1)(2)
- 笹田昌宏, 郵便客車 (オユ10形式) 保存・公開展示, 産業考古学, 89
- 三木理史, 近代交通研究における史・資料—『鉄道省文書』を中心に—, 関西大学文学部地理学教室編: 『地理学の諸相—実証の地平—』, 大明堂
- 山田 貢, 木曾上松の「鬼淵鉄橋」と産業遺産, 産業考古学, 87
- 志賀善一良, 観光資源としての鉄道/事例研究: 大井川鉄道, 櫻美林国際学論集, 3

- 持田 豊，青函トンネルと英仏海峡トンネル，地理，43(10)
- 小熊米雄，帝室林野管理局木曾支局森林鉄道の運輸・運転規定，鉄道史学，16
- 小川 功，History of Amusement Park Construction by Private Railway Companies in Japan, Japan Railway & Transport Review, 15
- 小川 功，昭和3年10月記念写真帖 ビワコ電鉄，鉄道史学，16
- 小川 功，投機的資本家集団と銀行乗取—藝備銀行株主総会紛糾事件を中心として—，彦根論叢（滋賀大学），312
- 小川 功，明治中期における近江・若狭越前連絡鉄道敷設計画の挫折と鉄道投機—小浜商人主唱の小浜鉄道と東京資本主導の京北鉄道の競願を中心として—，滋賀大学経済学部付属資料館研究紀要，31
- 小池則光・横平 弘・山本幸司，鉄道建設における総花的予算配分による損失額試算にかんする一考察，土木史研究，18
- 小野田滋，山岳鉄道トンネルの進歩，地理，43(10)
- 小野田滋，わが国における鉄道用煉瓦構造物の技術史的研究，鉄道総研報告，特別27（学位論文）
- 松藤真人，天理軽便鉄道，東大寺学園中学校・高等学校研究紀要，8
- 青木栄一，加藤要一氏の論文へのコメント，社会経済史学，64(2)
- 青木栄一，トンネルの歴史地理学，地理，43(10)
- 青木栄一，鉄道史研究における地方史的アプローチの系譜，明大商学論叢（明治大学商学研究所），80(1・2)
- 青木真美，ベルリンの鉄道整備の歴史とその今日的課題，鉄道史学，16
- 石川浩稔，鉾山鉄道と運搬坑道の実際，地理，43(10)
- 曾根 悟，LRTとLRV，運輸と経済，58(3)
- 大島登志彦，群馬県を囲む山越え区間における公共交通の概要と諸問題，群馬文化，253
- 鷹嘴克夫，青函トンネル開業後10年を振り返って—北海道旅客鉄道株式会社—，運輸と経済，58(12)
- 中村実男，明治大正期における都市構造の変容と交通の発達，オホーツク産業経営論集，8(2)
- 渡邊恵一，明治中期北海道における私設鉄道設立運動—北海道鉄道（函樽鉄道）株式会社の事例—，経済学論集（鹿児島大学経済学会），49
- 福田行高，トンネルが変えた鉄道ルート，地理，43(10)
- 福島二郎・為国孝敏・中川三朗，近代の東京近郊における都市の変容と運輸形態に関する一考察，土木史研究，18
- 堀 雅通，鉄道「上下分離」論の史的研究—ドイツの事例を中心に—，鉄道史学，16
- 堀川健夫，青函トンネル，鉄道貨物輸送の10年と今後の課題—日本貨物鉄道株式会社—，運輸と経済，58(12)
- 野村 亨，蘭領東インド・バタヴィアにおける都市交通の発達，鉄道史学，16
- 野田正穂，多摩湖鉄道の12年間，東村山市史研究，7
- 鈴木盛明・福島二郎・為国孝敏・中川三朗，鉄道開業による舟運の衰退過程に関する一考察，土木史研究，18
- 老川慶喜，井上勝の鉄道構想，明大商学論叢（明治大学商学研究所），80(1・2)

1999年

- 安藤 陽，年表でみるイギリス鉄道民営化の動向と特徴—1987～1997年—，運輸と経済，59(4)
- 宇田 正，西日本における交通の近代化過程—水運と鉄道との歴史的関連—，交通史研究，43
- 宇田 正，戦前日本の田園都市開発と電鉄企業—ニュータウン建設の先駆—，大阪春秋，96
- 益井茂夫，京王電気軌道御陵線，多摩のあゆみ，93
- 益井茂夫，国立付近の線路の不思議と武蔵野線，多摩のあゆみ，94
- 横平 弘，北見地方の峠越え鉄道トンネルと峠道

- 路の形成, 土木史研究, 19
- 角 克明, 近代における紀州沿岸航路の発展と陸上交通—和歌山県の場合—, 交通史研究, 43
- 角本良平, 都市交通—20世紀の検証と21世紀の展望—, 運輸と経済, 59(11)
- 角本良平, 東京の発展と鉄道整備, 運輸と経済, 59(12)
- 梶本元信, タフ・ヴェール鉄道と南ウェールズ経済, 鉄道史学, 17
- 岸田 真, 南満州鉄道外債交渉と日本の対外金融政策, 1927~1928年—, 社会経済史学, 65(5)
- 菊池良範・西 淳二・清水隆文・杉山 崇, 利用者動線から見た地下鉄施設の変遷, 土木史研究, 19
- 吉川文夫, 東京—神田間高架線アーチ橋の橋頭, 産業考古学, 92
- 吉野達夫, 我国鉄道建設・運営における国家補助の変遷経緯とその初期における経営の一端, 土木史研究, 19
- 橋爪紳也, 駅舎の空間文化, 運輸と経済, 59(12)
- 原 輝史, 日仏鉄道技術交流に関する一考察—第二次世界大戦後を中心に—, 経済学論究 (関西学院大学経済学部), 52 (特別号)
- 原田雅純, 里見軌道と上州電気鉄道, 高崎市史研究, 11
- 荒山正彦, 戦前期における朝鮮・満洲へのツーリズム—植民地視察の記録『鮮満の旅』から—, 関西学院史学, 26
- 高橋伊佐夫・横山悦生・稲生 勝, 国鉄旧北陸線の産業遺産—杉津線のトンネルとスイッチバック—, 産業考古学, 94
- 高嶋修一, 占領期鉄道政策の研究, 私家版
- 今井 寛, 新潟交通・電鉄線廃業後の鉄橋の近況, 産業考古学, 91
- 今 尚之・進藤義郎・原口征人・佐藤馨一, 旧国鉄土幌線の鉄道土木遺産とその保存活動について, 土木史研究, 19
- 今城光英, 三陸鉄道15年の経験, 運輸と経済, 59(11)
- 山田俊明, 郊外のターミナル駅と再開発, 地理, 44(10)
- 山田徹雄, 鉄道企業と資金調達—19世紀西部ドイツの事例—, 鉄道史学, 17
- 住本剛史, 鉄道史料と近現代の史料論—北丹鉄道の事例を中心に—, 交通史研究, 44
- 小川 功, 地方公益企業の乗取失敗と関与銀行家の苦惱—篠山軽便鉄道を事例として—, 彦根論叢 (滋賀大学), 321
- 小川 功, 地方零細企業の破綻処理と“救済者”集団—播州水力電気鉄道とその競落を中心に—, 滋賀大学経済学部研究年報, 6
- 松下孝昭, 鉄道経路選定問題と陸軍—1890年代における本州縦貫鉄道構想をめぐって—, 日本史研究, 442
- 松本和明, 東京地下鉄道の経営と資金調達, 鉄道史学, 17
- 進藤義郎・今 尚之・原口征人・佐藤馨一, 大夕張地区における森林鉄道橋梁の特徴と評価に関する研究, 土木史研究, 19
- 杉本俊雄, 何が米国貨物鉄道を再生させたか, 運輸と経済, 59(4)
- 星 良助, 北海道炭礦鉄道の運転時刻(3), 小樽市博物館紀要, 13: 01—45
- 青木栄一, 日本の鉄道と地域社会 (教育情報衛星通信ネットワークを利用した大学公開講座), 駿河台大学, 高等教育情報化推進協議会
- 青木栄一, 鉄道駅の歴史地理学, 地理, 44(10)
- 青木真美, ドイツ再統合以降のベルリンの再生と鉄道整備, 鉄道史学, 17
- 千葉正史, 北京初代鉄道ターミナル馬家堡駅と中国最初の電気鉄道—19世紀末北京における鉄道事情—, 鉄道史学, 17
- 草 卓人, 立山鉄道から富山電気鉄道への道程—地域鉄道の変容と再編をめぐって—, 富山史壇 (越中史談会), 129
- 大貫富夫, 北陸新幹線高崎~長野間の建設をふりかえって, 運輸と経済, 59(2)
- 池田禎男, 都市計画と鉄道駅, 地理, 44(10)
- 坪井珍彦, 転がり軸受のルーツ, 産業考古学, 94
- 天野宏司, 戦前期電気事業者における供給域の規

- 定要因—東京都多摩地域を事例として—, 國學院雑誌, 100(2)
- 田中邦博・長弘勇次・野田和子, 北部九州における産業鉄道の史的比較, 土木史研究, 19
- 渡邊恵一, Cement Industry Use of Railways ca. 1890-1930 The Case of Asano Cement, Japanese Yearbook on Business History, 16
- 渡邊恵一, 第一次大戦後イギリスの対インド鉄道政策の転換過程とインド・ナショナリズム—鉄道建設・経営主体及び鉄道財政分離問題を中心として—, 社会経済史学, 65(4)
- 内田知行, 改革開放政策下のベトナム交通運輸—陸運・鉄道・内河水運を中心に, 東洋研究(大東文化大学東洋研究所), 131
- 馬場 明, 1910年代の満蒙鉄道問題, 國學院雑誌, 100(8)
- 白井 昭, 台湾阿里山のSL復活, 産業考古学, 94
- 肥田野登・加藤尊秋, 日本の都市鉄道における移動過程の機能—文学作品および新聞投稿を素材として—, 鉄道史学, 17
- 福田行高, 駅と地域社会, 地理, 44(10)
- 平原国男, 龍ヶ崎鉄道の4号蒸気機関車, 産業考古学, 93
- 片岡 豊, 明治期鉄道業の資金調達と証券市場, 鉄道史学, 17
- 野村 亨, The Development of the Urban Transport System in Metropolitan Bangkok: 1887-1997, 交通運輸情報プロジェクトレビュー(慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス), 7
- 野村 亨, 蘭領東インド東ジャワ地域における軽便鉄道の発達—OJSを中心として—, 鉄道史学, 17
- 賛田秀世・大井晴男・鈴木博人, ポーナル桁を転用した鉄道こ線道路橋の形態について(染井橋・江戸橋・中野こ線道路橋について), 土木史研究, 19
- 2000年**
- マリー・ノエル・ポリノ(菅 建彦訳), フランス鉄道史協会について, 鉄道史学, 18
- 栗野 宏, 奥羽本線板谷峠の産業遺産(1)—鉄道開通1世紀の板谷峠—, 金属, 70(2)
- 伊藤 篤, レール材質の昔と今, 金属, 70(2)
- 宇田 正, それでも汽車は動く—敗戦前後の国鉄利用体験から—, 燈影, 10
- 益井茂夫, 多摩鉄道と阿部貞助—本誌97号特集「まぼろしの鉄道」を読んで—, 多摩のあゆみ, 99
- 岡田 直, 近代地方都市における私鉄ターミナルの成立について—大正・昭和戦前期の福岡・天神を事例として—, 地方史研究, 283
- 岡本憲之, 本当は鉄道のあった武蔵村山市, 多摩のあゆみ, 97
- 加藤新一, 東京の都市計画と都市鉄道—甲武鉄道市街線の建設をめぐる—, 多摩のあゆみ, 97
- 河野敬一, 鉄道調査と文書資料—資料だけに現れる「幻の鉄道」—, 地理, 45(10)
- 角本良平, 日本の都市交通, 運輸と経済, 60(9)
- 吉川文夫, 東京都電6000形6152号, 産業考古学, 96
- 吉田明雄, 多摩の軍用線・軍需線, 多摩のあゆみ, 97
- 原田勝正, 人の集まることが, 駅の無形の財産, 『駅学ノススメ 25人の提言』, ジェイアール東日本企画
- 広瀬盛行, 東京大都市圏の構造変化と通勤交通—, 運輸と経済, 60(11)
- 高島俊和, 武蔵野線の開通とバス交通の変貌, 交通とかわぐち—地域講座の講演記録集—, 川口市立戸塚図書館
- 今井 寛, 白新橋梁, 産業考古学, 98
- 今城光英, 明治期鉄道統計の推計と分析(1)—私設鉄道—, 大東文化大学経営研究所, J—34
- 三木理史, 地域の見える鉄道調査, 地理, 45(10)
- 三木理史, 明治期大阪市の都市交通とその領域制—市内交通機関市営主義の再考から—, 社会

- 経済史学, 66(39)
- 山岸 健, 鉄道の旅と「風景の窓」—柳田国男／旅と人間—, 運輸と経済, 60(10)
- 山田義高, 史料紹介・坂東鉄道—地域に残る鉄道史料—, 多摩のあゆみ, 97
- 山田志乃布, 北海道における港湾の盛衰と鉄道輸送, 鉄道史学, 18
- 山田俊明, 八王子発まぼろしの鉄道—大環状線ならず—, 多摩のあゆみ, 97
- 小川 功, 関西鉄道会社建設期の地元重役による経営改善推進—明治23年恐慌下の京浜資本家の蹉跌と地元資本家の焦燥—, 滋賀大学経済学部附属史料館研究紀要, 33
- 小池 滋, 駅は教会と同じ存在—動く人からたたくむ人のための駅へ—, 『駅学ノススメ 25人の提言』, ジェイアール東日本企画
- 小野田滋, 鉄道調査と近代化遺産—碓氷峠鉄道施設を例として—, 地理, 45(10)
- 小野田滋, 阪神間・京阪間鉄道における煉瓦・石積み構造物とその特徴, 土木史研究, 20
- 松下孝昭, 鉄道調査と地方政治—広島県を例として—, 地理, 45(10)
- 松山晋作, パンタグラフすり板とトロリー線, 金属, 70(2)
- 生方良雄, 多摩ニュータウンの鉄道計画, 多摩のあゆみ, 97
- 青木 亮, 北京市, 長春市にみる中国の都市交通政策, 富大経済論集(富山大学経済学部), 46(2)
- 青木栄一, 多摩の「まぼろしの鉄道」, 多摩のあゆみ, 97
- 曾根 悟, スイスと公共交通—世界の鉄道王国日本とヨーロッパの鉄道王国スイス—, 運輸と経済, 60(7)
- 倉持順一・平塚健一郎, 史料紹介・東五鉄道—多摩市・富澤家文書から—, 多摩のあゆみ, 97
- 草 卓人, 越中鉄道再建過程の一断面, 富山近代史研究, 23
- 大豆生田稔, 東北産米の移出と鉄道輸送, 鉄道史学, 18
- 中西 聡, [共通論題: 近代交通体系の形成と物流] 結論, 鉄道史学, 18
- 中西 聡, 瀬戸内・山陰地帯における鉄道敷設と港湾の性格変化, 鉄道史学, 18
- 中村実男, ハーバート・モリソンとロンドン旅客運輸公社の成立, オホーツク産業経済論集(東京農業大学産業経営学会), 10(1)
- 中村尚史, [共通論題: 近代交通体系の形成と物流] 問題提起, 鉄道史学, 18
- 中村尚史, 北部九州地域における鉄道敷設と物流構造, 鉄道史学, 18
- 中尾正俊, 路面電車からLRT交通システムへ, 運輸と経済, 60(6)
- 辻村太郎, プレーキ材料の変遷と展開, 金属, 70(2)
- 辻村太郎, 材料技術の進歩と鉄道, 金属, 70(2)
- 堤 一郎, 鉄道車両の保守・補修作業現場に見る技術・技能の継承—(第1報) ある保存鉄道の事例から—, 日本労働研究機構研究紀要, 20
- 田中宏昌・関 雅樹・阿部英彦・野辺 武・稲葉紀昭, 114年間供用された旧大谷川トラス橋の実態と復元, 土木史研究, 20
- 田中邦博・市川紀一・亀田伸裕, 北九州に創設された小倉鉄道に関する史的研究, 土木史研究, 20
- 藤井秀登, 関一の都市交通論—大阪市営地下鉄の創設とまちづくり, 鉄道史学, 18
- 白土貞夫, 千葉県下を最初に走った成宗電気軌道の電車, 成田市史研究, 24
- 樋口輝久・馬場俊介, 産業・交通史から見た土木遺産, 土木史研究, 20
- 服部守成, 鉄道車両用鋼体の変遷—速度向上と構体材質の進歩—, 金属, 70(2)
- 片山七三雄, 逋信省の交通通信行政—「鉄道」をどのように「郵便」に利用したか—, 交通史研究, 45
- 堀 雅通, スウェーデンの鉄道改革—成果と課題, 鉄道史学, 18
- 木川武彦, 車輪材料の動向—一体車輪の技術開発,

- 金属, 70(2)
 野田正穂, 川越鉄道の成立, 鉄道史学, 18
 鈴木聡史・五十嵐日出夫, これからの交通システム整備と「まちづくり」に関する土木史的考察, 土木史研究, 20
 鈴木雄一郎, 戦前期大阪における都市形成と高速鉄道問題, 交通史研究, 45
 老川慶喜, 川口鑄物業の展開と輸送, 交通とかわぐち—地域講座の講演記録集—, 川口市立戸塚図書館
 老川慶喜, 武州鉄道の成立と展開, 交通とかわぐち—地域講座の講演記録集—, 川口市立戸塚図書館

2001年

- 鳩沢 歩, 1850年代初期プロイセン鉄道業における「民主主義的」職員, 鉄道史学, 19
 鳩沢 歩, プロイセン国有鉄道における雇用関係の成立と官僚制—1850年代における鉄道任官資格付与を中心に—, 社会経済史学, 67(2)
 栗野 宏, 奥羽本線板谷峠の橋梁と関連遺構, 産業考古学会2001年度全国大会(山形)研究発表講演論文集
 栗野 宏, 世紀越えに相次いで失われた産業遺産—旧米沢機関区の転車台と機関車庫—, 産業考古学, 99
 横平 弘, 旧国鉄緒滑線の形成過程と路線効果, 土木史研究, 21
 橋爪紳也, ターミナル文化のリノベーションに向けて—ツーリストシティの視点から—, 運輸と経済, 61(1)
 原口征人・日野 智・今 尚久・佐藤馨一, 北海道官設鉄道と札幌農学校出身の鉄道技術者, 土木史研究, 21
 原田勝正・小山 徹, (対談)“技術”の眼から鉄道を語る—『日本鉄道史—技術と人間』刊行に寄せて—, 刀水(刀水書房), 5
 江原岳志, 鉄道に関する博物館の史料変遷と鉄道資料の展示・保存に関する研究(前編), 博物館学研究(国学院大学), 26

- 高 宇, 1920年代生鮮食料品の輸送問題, 鉄道史学, 19
 高橋伊佐夫, 旧武豊駅に残る転車台の調査, 産業考古学, 99
 今城光英, 明治期鉄道統計の推計と分析(2)—官設鉄道—, 大東文化大学経営研究所, J—36
 佐藤吉彦, 世界銀行による東海道新幹線プロジェクトの評価, 鉄道史学, 19
 三村 章, 多摩川と砂利採取, 多摩のあゆみ, 102
 三木理史, 樺太の産業化と不凍港選定—1910年代の本斗港の選定をめぐって—, 日本植民地研究, 13
 寺島敏治, 財閥の釧路炭田への進出と展開・序論—三井鉱山(株)の経営とその変容—, 鉄道史学, 19
 小野田滋, 阿部美樹志とわが国における黎明期の鉄道高架橋, 土木史研究, 21
 小野田滋, 総武鉄道高架延長線計画の沿革に関する研究, 土木計画学研究・論文集, 18(1)
 水谷昌義, 国有鉄道停車場変遷データの悉皆調査とデータベース構築, 鉄道史学, 19
 清水一史, 殖民軌道・簡易軌道に関する考察—殖民軌道・簡易軌道 雪裡・幌呂線(鶴居村営軌道)を中心に—, 鉄道史学, 19
 西野寿章, ローカル線廃止—鉄道の公益的機能評価への視点—, 地理, 46(10)
 堤 一郎, 鉄道と関連技術, 中岡哲郎・鈴木淳・堤一郎・宮地正人編『産業技術史』5章(新体系日本史11), 山川出版社
 田口 淳, 北総線開業による千葉ニュータウン入居者の居住地移動と通勤行動の変容, 地理学評論, 74(6)
 武田 泉, 国鉄改革に伴う鉄道営業政策の変更と利用者の利益—周遊券制度の改廃を端緒として—, 交通権, 18
 風間 進, 武州鉄道, 私家版
 矢野俊幸, 第3セクター鉄道の歩みと今後の取り組み, 運輸と経済, 61(5)
 澤内一晃, 両大戦間期東京市場の砂利流通, 立正

大学大学院年報, 18

2002年

- 伊東 孝, 可動橋一覧と近代橋梁の利活用, 土木史研究, 22
- 伊藤暢直, 明治期の鉄道敷設願書と北郊地域, 地方史研究, 298
- 井田泰人, 村野山人と山陽鉄道, 交通史研究, 48
- 宇野 求, これからの鉄道と都市デザイン, 運輸と経済, 62(1)
- 横平 弘, 石炭鉱業地域社会の衰退と再生, 土木史研究, 22
- 柿崎一郎, 戦前期タイ鉄道の旅客輸送, 鉄道史学, 20
- 関谷次博, 戦後復興期から高度成長期にかけての国鉄貨物輸送衰退要因の分析—トラック輸送発展の側面から—, 鉄道史学, 20
- 原 輝史, フランス鉄道史協会第9回シンポジウム(シャトロ, 2001年9月)に参加して, 鉄道史学, 20
- 原口征人, 鉄道技術における列車凍上害への対策の変遷, 土木史研究, 22
- 江原岳志, 鉄道に関する博物館の史的変遷と鉄道資料の展示・保存に関する研究(後編), 博物館学紀要(國學院大学), 27
- 今井圭子, [共通論題: 鉄道民営化の国際比較] コメントと質疑応答・討論, 鉄道史学, 20
- 今井圭子, [共通論題: 鉄道民営化の国際比較] はじめに, 鉄道史学, 20
- 今井圭子, アルゼンチンにおける鉄道民営化の現状と課題, 鉄道史学, 20
- 佐藤吉彦, 日本における鉄道民営化がもたらした変革の本質, 鉄道史学, 20
- 佐藤吉彦, 満鉄におけるあじあ号の運転と鉄道技術研究所が果たした役割, 鉄道史学, 20
- 桜井 徹, ドイツにおける鉄道改革の理念と実際, 鉄道史学, 20
- 三木理史, 戦間期大阪市の都市膨張対応と交通調整, 地理学評論, 75(1)
- 三木理史, 鉄道廃止と地域社会—縮小史観からの日本鉄道史再考—, 運輸と経済, 62(9)
- 小西純一, 近代橋梁の見方・調べ方, 土木史研究, 22
- 新延正憲, 欧州の鉄道博物館—真鍮の銘板—, 運輸と経済, 62(8)
- 神谷昌平, 鉄道事業とバリアフリー化—阪急伊丹駅での整備をふりかえって—, 運輸と経済, 62(4)
- 進藤義郎・今 尚之, 北海道の橋梁土木遺産—最近の話題から—, 土木史研究, 22
- 青木栄一, The Preservation of Railway Heritage in Japan: An Outline History and General View, Japan Railway & Transport Review (East Japan Railway Culture Foundation), 30
- 青木栄一, 路面電車の復権—LRTの発達とその現状—, 地理, 47(6)
- 青木真美, 英国における鉄道民営化, 鉄道史学, 20
- 千葉正史, 清末における国家的物流システム維持と近代交通手段の導入—漕運問題史上における廬漢鐵路計画の位置—, 立命館言語文化研究, 14(2)
- 川崎雅史, 鉄道における沿線イメージの形成, 運輸と経済, 62(9)
- 大矢悠三子, 労働社会の「変革」と鉄道会社—日鉄ストライキと九鉄ストライキを比較して—, 交通史研究, 50
- 白土貞夫, 戦前の佐倉の鉄道史, 佐倉市史研究, 15
- 畑岡 寛・田中邦博・市川紀一・亀田伸裕, 筑豊炭の運炭機構の形成に関する史的研究, 土木史研究, 22
- 堀 雅通, スウェーデンの鉄道改革, 鉄道史学, 20
- 堀 雅通, 北米, 日本, 欧州にみる鉄道改革の特徴—鉄道事業の公共性と企業性—, 鉄道史学, 20
- 木村一男, 鉄道車両デザインの変遷, 運輸と経済, 62(1)

林 采成，戦時期朝鮮国鉄における輸送力増強とその「脱植民地化」的意義，社会経済史学，68(1)

2003年

伊藤玄三，考古学上からの近・現代遺産，地理，48(10)

为国孝敏，郊外鉄道黎明期における小林一三の地域・都市戦略に関する一考察，土木史研究，23

宇田 正，終点のない鉄道線路—箕面電車の初期軌跡はエンドレス—，大阪春秋，113

宇田 正，都市公共交通における近代化遺産，『近代化の人文・社会的遺産の比較史的考察』（追手門学院大学学内共同研究成果報告書）

岡田 直，城下町都市における「鉄道忌避伝説」をめぐって—盛岡と熊本の事例—，地方史研究，304

間崎光一郎，アーバンネットワーク輸送戦略とその歩み，運輸と経済，63(2)

近藤 敏，小湊鉄道研究小史，市原市文化財センター研究紀要，IV

原 恒雄，東海道新幹線の高速化技術発展の足跡，運輸と経済，63(12)

原口征人，凍上害に対する鉄道および道路対策技術の展開，土木史研究，23

江原岳志，鉄道車両の保存と修復について，國學院大學博物館學紀要，28

高嶋修一，東京における「ターミナル」駅の形成—渋谷駅を事例に—，運輸と経済，63(2)

佐久間美紀・天野光一・寫田真一，酒田における輸送形態の変化と都市の変遷に関する基礎的研究，土木史研究，23

三木理史，「都市鉄道」の成立—戦間期大阪市と近郊の事例による考察—，技術と文明，14(1)

三村 卓，下河原線物語その1，その2，多摩地域史研究会会報，61，62

松永州正，国鉄改革後の不採算線対策，その意義と現状—可部線をケースとして—，経営研究

(大阪市立大学経営学会)，54(2)

松田敦志，戦前期における郊外住宅地開発と私鉄の戦略—大阪電気軌道を事例として—，人文地理，55(5)

森 陽子・望月 清・樋口輝久・馬場俊介，四日市製紙専用鉄道の大型吊橋・富士橋，土木史研究，23

水谷昌義，自動車により開業した改正鉄道敷設法別表掲載区間，鉄道史学，21

成清史人，ドイツにおけるICEの歩みと今後の展開，運輸と経済，63(10)

星野誉夫，明治初年の東海道鉄道建設計画，武蔵大学論集，50(4)

青木栄一・堤 一郎，旧日の丸自動車法勝寺鉄道750号客車の調査と復元，産業考古学会2003年度総会研究発表講演論文集

千葉正史，清末鉄道史再考—国家体制の変容と鉄道建設論の推移—，鉄道史学，21

大島登志彦，バスと鉄道の競合関係の変遷，地理，48(2)

中川 洋，省営自動車の戦時動員輸送—原産地輸送路線の開設を中心に—，鉄道史学，21

中村英夫，安全面からみた鉄道技術—制御技術を中心に—，運輸と経済，63(12)

堤 一郎・三輪修三，Early Steam Locomotive Building in Japan, The Journal of Industrial History, 6(1)

田中尚人・川崎雅史・坪田 樹，鉄道・電気事業からみた近代宇治の都市イメージ形成，土木史研究，23

渡邊恵一，産業化と地方企業—青梅鉄道の事例，武田晴人編『地域の社会経済史—産業化と地域社会のダイナミズム—』，有斐閣

渡邊恵一，浅野セメントにおける市場と原料調達，中西聡・中村尚史編『商品流通の近代史』，日本経済評論社

内田知行，日本軍占領下の中国山西省における鉄道建設と鉄道経営，鉄道史学，21

白土貞夫，宝塚に残る成宗電気軌道の台車，なりた（成田山霊光館），30(3)

畠山秀樹, 近代化過程における鉄道と鉱山業に関する覚書, 『近代化の人文・社会的遺産の比較史的考察』(追手門学院大学学内共同研究成果報告書)

北村 拓, 武州鉄道顛末記, 多摩地域史研究会会報, 63

李 容相・安部誠治, 東アジアにおける高速鉄道建設と韓国高速鉄道の展望, 運輸と経済, 63 (12)

實 清隆, 「公共交通」をもとにしたまちづくりの日米比較, 奈良大学総合研究所所報, 11

澤内一晃, 震災復興期都市膨張の方向性と通勤輸送の出現—「郊外電鉄」の影響度—, 交通史研究, 52

2004年

茨城県立歴史館史料部編, 茨城県立歴史館史料叢書7, 鉄道関係史料I, 茨城県立歴史館

奥原哲志, 京王電気軌道株式会社による沿線行楽地の開発—沿線案内図からの検討—, 奥須磨子・羽田博昭編『都市と娯楽—開港期~1930年代』, 日本経済評論社

奥須磨子, 郊外の再発見, 奥須磨子・羽田博昭編『都市と娯楽—開港期~1930年代』, 日本経済評論社

何 徳偉, 南満州鉄道株式会社の労務管理(1906—1930)—鉄道荷役業における「把頭制度」と「直轄制度」の関係—, 鉄道史学, 22

夏目勝之, 武豊港駅貨車用転車台の設置目的に関する一考察, 産業考古学会2004年度全国大会(加悦)研究発表講演論文集

柿崎一郎, 鉄道車両調達と国際入札—タイにおけるディーゼル機関車の事例—, 鉄道史学, 22

関谷次博, 戦後日本におけるトラックを中心とした輸送体系の構築—荷主企業の動向とトラック運輸業者の活動から—, 鉄道史学, 22

吉原不二枝, 鹿児島本線開設と煉瓦建造物, 土木史研究, 24

宮下弘美, 北海道・京浜地域間交通史, 鉄道史学, 22

近藤智子, 百貨店をめぐる娯楽の変容—昭和戦前期の東京を中心として—, 奥須磨子・羽田博昭編『都市と娯楽—開港期~1930年代』, 日本経済評論社

桑島 裕, 高崎線建設に関わる地方の民衆意識—高崎線沿線の鉄道忌避伝承の検討—, 高崎経済大学附属産業研究所編:『近代群馬の民衆思想—経世済民の系譜—』, 日本経済評論社

原田正純・手島 仁, 群馬県における鉄道建設の計画とその意義, 群馬県立歴史博物館紀要, 25

佐藤麗子, 開業100周年をむかえたニューヨーク地下鉄, 運輸と経済, 64(8)

三浦基弘・前田研一, フォース鉄道橋の隠された歴史 片持梁と渡辺嘉一, 土木史研究, 24

三木理史, 戦間期大阪市をめぐる貨物輸送と中央卸売市場の成立, 交通史研究, 54

三木 卓, 昭和20年八高線列車衝突事故モニュメント, 多摩地域史研究会会報, 65

寺島敏治, 1920年代の雄別炭砒鉄道株式会社, 鉄道史学, 22

徐 蘇斌, 清末民初における鉄道建設と日本 その1. 小川資源の鉄道考察と潮汕鉄路の建設, 土木史研究, 24

小野 浩, 戦間期における東京郊外私鉄の経営—目黒蒲田電鉄を事例として—, 立教経済学論叢, 65・66

松本和明, 娯楽・百貨店事業と渋谷の開発—目黒電鉄・東横電鉄と五島慶太—, 奥須磨子・羽田博昭編『都市と娯楽—開港期~1930年代』, 日本経済評論社

松本和明, 新潟県・京浜地域間交通史, 鉄道史学, 22

水谷昌義, 日本の鉄道におけるメートル法導入の過程, 鉄道史学, 22

星野誉夫, [共通論題:京浜地域・国内各地域間交通史の諸問題—明治期~昭和戦前期—] 問題提起と総括, 鉄道史学, 22

星野誉夫, 京浜地域・京阪神地域間交通史, 鉄道史学, 22

- 星 良助，北海道（官設）鉄道，小樽市博物館紀要，17
- 青木栄一，最近開通した鉄道新線（1980年以降）一覽，地理，49(8)
- 青木栄一，鉄道の新線開通を考える—青木栄一先生に聞く—，地理，49(8)
- 青木栄一，鉄道史研究と『鉄道省文書』，歴史地理学，220
- 青木栄一，鉄道史研究と『鉄道省文書』・補遺，歴史地理学，221
- 石堂正信，国鉄における資産形成と財政破綻—国の助成のあり方をめぐって(1)(2)(3)—，運輸と経済，64(3)(4)(5)
- 曾根 悟，新幹線開業40周年の歩みを振り返る，運輸と経済，64(12)
- 中村実男，戦間期ロンドンにおける郊外化と交通政策の展開—ロンドン旅客運輸公社（LPTB）設立へのプロセス—，鉄道史学，22
- 白土貞夫，「成宗電気軌道線路實測平面図」を考察する，成田市史研究，28
- 白土貞夫，「大師河原停車場」絵葉書を考察する，なりた（成田山靈光館），90
- 白土貞夫，京成電気軌道志津駅誘致をめぐって—志津半家日誌簿を中心に—，佐倉市史研究，17
- 富田 新，初期イギリス鉄道業における公共性と国有化の概念形成過程について，鉄道史学，22
- 野田正穂，戦時経済統制と交通調整法，鉄道史学，22
- 野田正穂，西武鉄道と狭山丘陵開発—東村山文化園から西武園へ—，東村山市史研究，13
- 北村 拓，村山軽便鉄道の免許について，多摩地域史研究会会報，65
- 北村 拓，武州鉄道顛末記第2回，第3回，第4回，多摩地域史研究会会報，66，67，68
- 鈴木勇一郎，郊外行楽地の盛衰，奥須磨子・羽田博昭編『都市と娯楽—開港期～1930年代』，日本経済評論社
- 鈴木雄一郎，東京における都市交通の成立と再編，鉄道史学，22
- 老川慶喜，[共通論題：戦間期大都市交通の諸問題] 問題提起と総括，鉄道史学，22
- 発行年不明**
- 稲葉松三郎，今は昔 郷土多摩鉄道事始め覚書—甲武鉄道の巻—，多摩郷土研究，巻号不明
- 加賀谷一良，速度について，九州共立大学紀要，4(2)
- 岩野祐一，鉄道新聞輸送の変遷を辿る—明治・大正・昭和，特運制度の歴史からみた「新聞紙」流通最前線，総合ジャーナリズム研究
- 佐藤信之，「自動車交通事業法」の時代的背景，経済学研究論集（亜細亜大学大学院経済学研究科），11
- 志賀善一良，日本の電鉄会社の経営多角化の起源，私家版
- 小林道彦，桂園時代の鉄道政策と鉄道国有—「地方主義的鉄道政策」「国家主義的鉄道政策」をめぐって—，掲載誌不明，巻号不明
- 星山一男，社会情勢と御料車，私家版
- 早川高德，八事電車物語，私家版
- 村上行賢，コントうらばなし(7)，私家版
- 沢田幸雄，廃止された線路をたずねて 押切町・枇杷島橋間と柳橋乗入れ，私家版
- 長船友則，山陽鉄道物語—足立大尉遭難事件—，かもめ（鉄道友の会中国支部），88
- 立松 宏，武豊駅開業当時の達示綴，私家版